

網走市総合計画 2018▶2027

Abashiri City Comprehensive Plan

網走

豊かな自然に
ひと・もの・まちが
輝く健康都市



「豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く 健康都市 網走」を目指して

我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、経済成長、産業、社会保障など、さまざまな分野への影響が懸念されています。

特に地方都市では、大都市圏への人口流出が続き、人手不足や地域活力の低下、保健、医療、福祉、地域交通、コミュニティなど生活基盤への深刻な影響など、これまでに誰も経験したことのない極めて困難な課題が顕在化しようとしています。

私たちは、こうした時代の中にあっても、たくましい先人たちが幾多の困難を乗り越えて築き上げてきたように、ふるさと網走を次の時代へとしっかりと繋いでいかなければなりません。

こうした考えのもと、目指すべき網走の姿を実現するための基本的な考え方や取り組みを示す、2018（平成30）年度からの10年間を計画期間とした新しい「網走市総合計画」を策定しました。

この間、計画の策定にあたり熱心にご審議を重ねていただいた網走市総合計画審議会委員各位をはじめ、網走市総合計画協働会議委員各位、ワークショップにご参加いただいた中学生、高校生の皆さんから、多くの貴重なご意見をいただきました。

改めて心から感謝申し上げます。

網走の花・木



えぞむらさきつつじ
(昭和52年10月2日制定)

市制施行30周年を記念して、心豊かなまちをつくるため、公募をもとに選定されました。日本では北海道にしかなく、桜に先がけて色あざやかな花を咲かせます。



かつら
(昭和48年8月12日制定)

市制施行25周年(開基100年)を記念して、自然環境の保護、育成を図るため、公募をもとに選定されました。木肌が荒々しく健康そうで、葉は小型で丸く、円満さを示しています。

新しい計画では、将来像を「豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走」として
います。

網走には、オホーツク海、網走川、ラムサール条約登録湿地・濤沸湖をはじめ大小5つ
の湖沼、名勝・天都山、農地、森林など自然が織りなす四季折々の美しい景観、豊かな海や
広大な大地からもたらされる食、スポーツに適した清涼な気候、ここでしか見ることのでき
ない流水や歴史、そしてここに暮らすひとなど、さまざまな魅力にあふれています。

市民の皆さんをはじめ、団体、企業、行政などが連携し、一体となって、まちの持つ魅力
を最大限に活かしたまちづくりを進めることにより、10年先も豊かで美しい自然の中、ひ
と・もの・まちが輝き続け、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちの創造を目指して
います。

皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

網走市長

水谷 洋一



基本構想

序 章 第6期網走市総合計画策定の考え方

1. 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
2. 計画策定の視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - みんなの総合計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - わかりやすい総合計画・・・・・・・・・・・・ 6
3. 計画の構成と期間・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 計画策定の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

第1章 網走市のいま

1. 時代の潮流と網走市・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - (1) 人口減少・少子高齢化社会の急速な進行・・・・ 11
 - (2) 環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化・・ 11
 - (3) 安全・安心に対する意識の高まり・・・・・・・・ 11
 - (4) グローバル化と高度情報化のさらなる進展・・・・ 12
 - (5) 協働による持続的なまちづくりの重要性・・・・ 12
2. 市民の思い・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (1) 網走の魅力と課題（市民ワークショップから）・・・・ 13
 - (2) まちの将来像（市民ワークショップから）・・・・ 14
 - (3) 必要な取り組み（市民ワークショップから）・・・・ 14
 - (4) 市民の満足度と重要度（市民アンケートから）・・・・ 15

第2章 網走市の将来に向けて

1. まちづくりの理念・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
2. めざす方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
3. 将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
4. 将来像を実現するための5つの目標・・・・・・・・ 19
 - 目標1 一人ひとりを大切に作るやさしいまち・・・・ 19
 - 目標2 豊かな自然と共生する安心なまち・・・・ 19
 - 目標3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち・・・・ 20
 - 目標4 豊かなひとを育むまち・・・・・・・・・・・・ 20
 - 目標5 とともに歩み築く協働のまち・・・・・・・・ 21

第3章 計画の推進

1. 計画推進の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
2. 計画推進の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
3. 計画の進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (1) 点検・評価の実施・・・・・・・・・・・・ 23
 - (2) P D C Aサイクルに基づく行財政運営・・・・ 23
 - (3) 計画の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

目標 1 一人ひとりを大切にするやさしいまち

保健医療	29
地域福祉	31
生活福祉	35

目標 2 豊かな自然と共生する安心なまち

都市空間	37
都市基盤	38
生活安全	42
環境	45
生活基盤	48

目標 3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

農林業	53
水産業	55
観光	57
商工業	58
産業振興	59

目標 4 豊かなひとを育むまち

学校教育	63
社会教育	66
文化	68
スポーツ	70
交流	71

目標 5 とともに歩み、築く協働のまち

地域協働	73
行政運営	76

資料編

1. 網走市総合計画に関する諮問及び答申	79
2. 網走市総合計画審議会委員名簿（五十音順・敬称略）	80
3. 網走市総合計画協働会議委員名簿（五十音順・敬称略）	81
4. 中高生ワークショップ名簿（五十音順・敬称略）	81
5. 網走市総合計画策定経過	82
6. 網走市総合計画策定条例	83
7. 網走市まちづくり市民アンケート調査結果（概要）	84

網走市総合計画

基本構想



序章 第6期網走市総合計画策定の考え方

1. 計画策定の趣旨
2. 計画策定の視点
 - みんなの総合計画
 - わかりやすい総合計画
3. 計画の構成と期間
 - 基本構想
 - 基本計画
4. 計画策定の体制

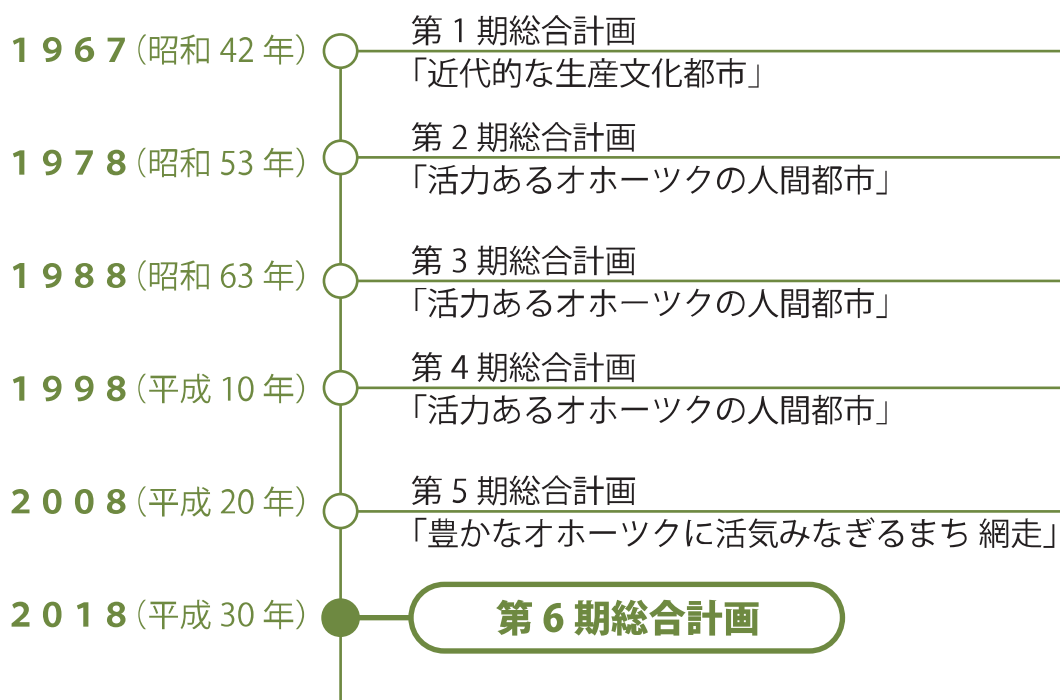
1. 計画策定の趣旨

本市では、昭和42年以来5期にわたり、まちづくりの長期指針として総合計画を策定し、まちづくりを進めてきました。平成20年に策定した第5期総合計画では、「豊かなオホーツクに活みなぎるまち 網走」を将来像として、また、平成27年には、総合計画の戦略版として「網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、まちづくりを進めています。

しかしながら、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、地域経済の縮小や地域活力の喪失が懸念されるほか、経済のグローバル化の進展に伴う競争力の激化や、頻発する大規模な自然災害、環境問題の深刻化、公共施設等の老朽化問題など、さまざまな課題が顕在化しています。

めまぐるしく変化する社会経済情勢は、住民のライフスタイルに変化をもたらし、価値観やニーズは、多様化、高度化しています。

本総合計画は、このような中であっても、課題を乗り越え、誰もが健康で幸せを感じることのできる、目指すべき「網走の姿」を今後10年間で実現するために、基本的な考え方や取り組みを示すものです。



2. 計画策定の視点

これまでも、市民、団体、企業などの参加、協力を得ながらまちづくりを進めてきましたが、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、さまざまな困難を乗り越えるためには、これまで以上に協働のまちづくりが重要です。

総合計画の策定は、「市民の参加」、「市民意見の反映」、「目指す将来像の共有」を基本としました。

みんなの総合計画

「協働によるまちづくりの意識向上」と「行政組織の活性化」を目的に、策定過程に多くの市民の参画を促し、「みんな（協働）でつくり、みんなが進める総合計画」とします。

わかりやすい総合計画

「市民との協働のまちづくり」を進めるため、まちのめざす姿と方向性を市民と共有するため「わかりやすい総合計画」とします。

網走市民憲章

昭和 47 年 7 月 17 日制定

わたしたちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然にかこまれた網走の市民です。

わたしたちには、遠いむかしから風雪にたえぬいて、この地をきり拓いてきた、たくましい先人の心がうけつがれています。

わたしたちは、このまちの市民であることに、かぎりない喜びと誇りをもち、のびゆく網走の良い市民となる願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. うみやまの深いみどりをいつまでも美しく、心豊かなまちをつくりましょう。
1. うけついだ文化にまなび、世界の人々と手をつなぎ新しいオホーツク文化のまちをつくりましょう。
1. たがいにまごころをもってつきあい、老人を大切にし、子どもの夢をそだてる、しあわせなまちをつくりましょう。
1. 元気で仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。
1. みんなが力をあわせ、人のいのちをだいじにする、明るく住みよいまちをつくりましょう。

3. 計画の構成と期間

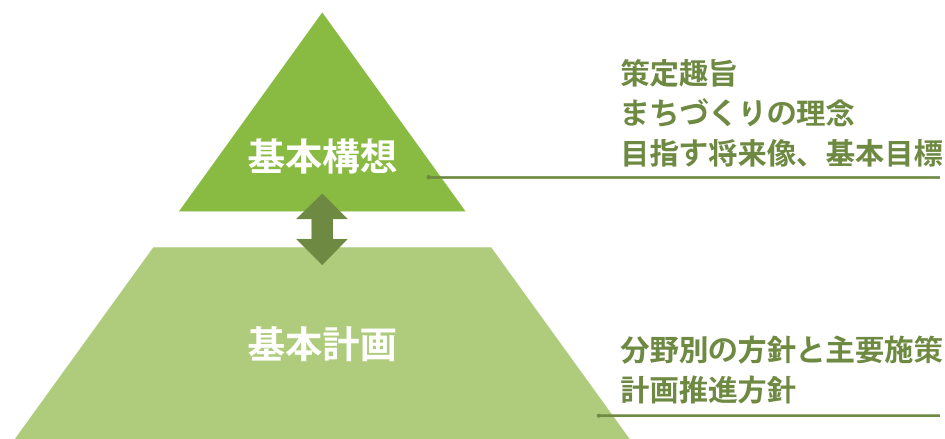
この計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成し、計画期間は、平成 30（2018）年度から平成 39（2027）年度までの 10 年間とします。

基本構想

基本構想には、まちづくりの基本的な考え方や目指すべき将来像、それを実現するための目標を示します。

基本計画

基本計画には、基本構想で示した目標を達成するための、分野別のまちづくりの方針や取り組む内容を示します。



4. 計画策定の体制

「みんなの総合計画」と「わかりやすい総合計画」の視点から、計画策定の体制は次のとおりとしました。

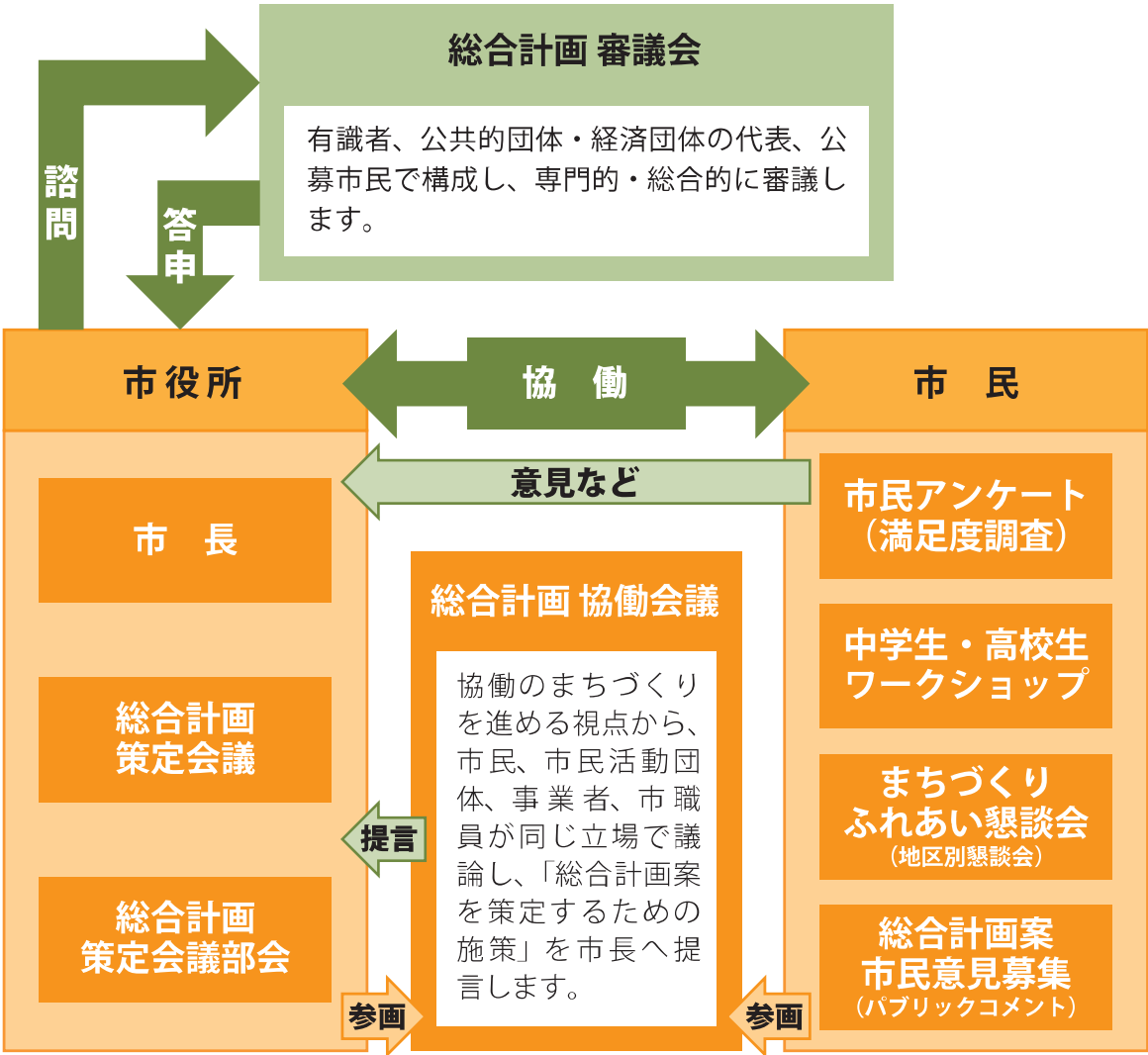
専門的、総合的な見地で計画案を審議し市長へ答申する機関として、有識者、各団体代表、公募市民で構成する「審議会」を設置しました。

次のまちづくりを担う若い世代の方々が、まちの魅力、課題、将来像などを同じ立場で議論する場として、市民、団体、事業者、市職員で構成する「協働会議」を設置しました。

まちの未来を担う中学生や高校生の皆さんが、まちの魅力や将来を語るワークショップを開催しました。

このほか、まちづくりふれあい懇談会や区長会議、パブリックコメントなど、さまざまな機会で市民意見を募集しました。

また、現在のまちづくりに対する満足度や、まちの将来像についての市民意識を把握するため、アンケート調査を実施しました。



第1章 網走市のいま

1. 時代の潮流と網走市

- (1) 人口減少・少子高齢化社会の急速な進行
- (2) 環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化
- (3) 安全・安心に対する意識の高まり
- (4) グローバル化と高度情報化のさらなる進展
- (5) 協働による持続的なまちづくりの重要性

2. 市民の思い

- (1) 網走の魅力と課題（市民ワークショップから）
- (2) まちの将来像（市民ワークショップから）
- (3) 必要な取り組み（市民ワークショップから）
- (4) 市民の満足度と重要度（市民アンケートから）



1. 時代の潮流と網走市

(1) 人口減少・少子高齢化社会の急速な進行

我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、経済成長、産業、社会保障など、さまざまな分野への影響が懸念されます。特に地方では、大都市圏への人口流出に歯止めがかからず、人手不足や地域活力の低下が進行し、保健、医療、福祉、地域交通、コミュニティなどの生活基盤を維持・確保することさえ困難になるなど、深刻な影響が懸念されます。

本市の平成27年国勢調査人口は、ついに4万人を下回る3万9,077人、高齢化率（65歳以上の人口割合）は26.9%となっており、この傾向はさらに進むことが予想されます。

このような人口減少社会にあっても、安心して子どもを産み育てられ、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちづくりが求められています。

(2) 環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化

地球温暖化の進行による氷河の融解、海面水位の上昇、生態系の変化、病気の媒体となる生物の生息域の拡大、異常気象などは、私たちの生命や財産に大きな被害を与えると考えられています。特に、近年多発している集中豪雨や暴風雪による災害リスク、真夏日や猛暑日の増加による熱中症の危険性の高まりなどが懸念されています。

今後、新興国のエネルギー需要の増大が予測される中、環境への影響が少ない再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の重要性が一層高まっています。

また、身近な環境問題であるごみ処理では、減量化やリサイクルなど、限りある資源の有効活用が求められています。

次世代へ良好な環境を引き継ぐためにも、環境に負荷の少ない循環型社会の形成が必要となっています。

(3) 安全・安心に対する意識の高まり

近年、東日本大震災や熊本地震など大規模な自然災害が頻発しており、住民の防災に関する意識は高まっています。

大規模災害の教訓により、国、道、市など関係機関（公助）による防災対策の推進はもとより、「公助、自助、共助」が密接に連携することが極めて重要との認識の下、「自分のことは自分で守る」（自助）と「自分たちの地域は自分たちで守る」（共助）の意識の向上と体制の構築が求められています。

また、道路、橋梁、公園、上下水道などのインフラや、庁舎、学校、公営住宅などの公共施設の老朽化が進む中、将来世代に大きな負担を強いることのない、安全・安心で持続可能な市民サービスの提供が求められています。

人口減少や人口構造の変化による利用需要を的確に捉えた、公共施設等の総合的な企画、管理が必要となっています。

（４）グローバル化と高度情報化のさらなる進展

世界的な貿易自由化の進展と交通・情報手段の飛躍的な発達、普及により、ひと、もの、資本、情報などの移動が活発化しており、経済活動をはじめとし、日常生活などのあらゆる面において世界各国との結びつきが強まっています。

経済のグローバル化の進展に伴い、国際的な市場競争が激化する中、基幹産業である農業、水産業および観光業の持続的な発展には、競争力を高め、アジア諸国などの経済成長を取り込むことが必要となっています。

また、近年は、ICT（情報通信技術）の進展、ビッグデータ、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、ロボットなどの技術革新が急速に進んでいます。

人口減少・少子高齢化の進展による労働力不足が懸念される中、こうした新しい技術の組み合わせは、私たちの働き方を変えるなど、さまざまな分野で大きな変化をもたらす可能性を秘めています。

（５）協働による持続的なまちづくりの重要性

人口減少・少子高齢化、経済のグローバル化、情報化など、私たちを取り巻く社会経済情勢は常に変化・複雑化し、住民のライフスタイルや価値観は変わり、そのニーズは多様化、高度化しています。

一方で、本市の財政は依然として厳しい状況にあり、歳入環境では一般財源総額（自由に使えるお金）が減少傾向にある中、歳出環境では社会保障関係費が増加を続け、さらに公共施設等の老朽化が進み、多くの施設が更新時期を迎え、維持管理や更新費用が増大することが予測されます。

こうした現状では、多様な市民ニーズに対応するために、行政だけで地域課題を乗り越えていくことは、もはや困難となっています。

市民、団体、企業、行政など多様な担い手が一体となり、それぞれの特性を活かし、連携しながら、さまざまな地域や社会の課題に立ち向かい、まちづくりに取り組むことが必要となっています。

2. 市民の思い

網走の未来を担う中高生や次のまちづくりを担う若い世代の方を対象に、まちの魅力、課題、将来などを語り合う市民ワークショップを開催し、さまざまなご意見を頂きました。

また、市民アンケートを実施し、まちづくりに対する満足度や、まちの将来像について多くのご意見を頂きました。

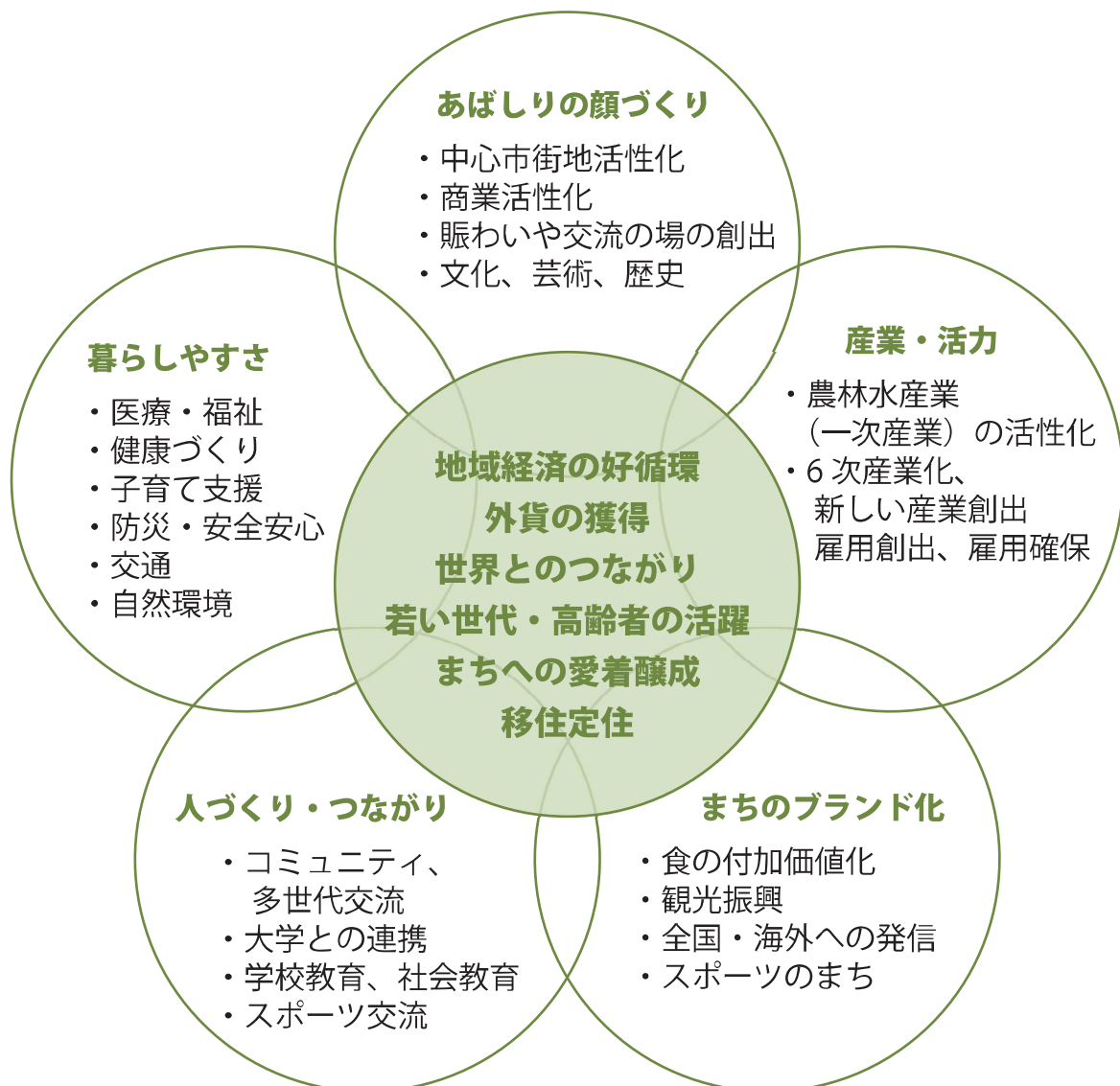
(1) 網走の魅力と課題（市民ワークショップから）

項目	魅力	課題
自然	豊かな自然、過ごしやすい気候、災害が少なく安心して暮らせる。	自然環境を守っていく必要がある。
ひと	やさしい、温かい人が多く、人と人、組織同士のつながりが強い。学生が多い。	コミュニティの担い手が不足 高齢者の1人暮らしが多い。 結婚しない人が増えている。
健康・医療	病院が多数あり安心感がある。	専門的、先進的な病院が少ない。健康づくりが浸透していない。
子育て	子育て支援が手厚く、子育てしやすい環境が整っている。	
食	海産物や農産物が豊富でおいしい。食がブランド化されている。	さらに商品化、ブランド化する必要がある。
産業	農業、水産業など一次産業が盛ん。流水など観光資源が豊富でアジア圏を中心に外国人観光客が多い。観光資源、観光施設が多い。	外国人観光客への対応（看板など）が追い付いていない。 観光の魅力発信が必要 広域での観光、商業振興
雇用		若い人が希望する就職先がない。 働き手、担い手が不足、起業支援
交通		公共交通（バス、鉄道）が不便、買い物不便、空港の強化
スポーツ	スポーツ環境が整っている。 スポーツ合宿が盛ん。	競技人口を増加させる仕組みや合宿の選手と地元の子どもたちの交流がもっとあれば良い。
中心市街地・にぎわい	イベントが多い。	中心市街地を歩く人が少ない。 空き地、空き家が増えている。 子ども、若者の遊び場、高齢者の出歩く場が少ない。
その他	網走の知名度が高い。 農大との連携、大学生や高校生がまちづくりに関わっている。	

(2) まちの将来像（市民ワークショップから）

- ・自然豊かなまち
 - ・全ての人にやさしいまち
 - ・みんなが活躍するまち
 - ・人のつながりがあるまち
 - ・子育て環境が充実したまち
 - ・医療が充実したまち
 - ・オホーツクの中心
 - ・活力があるまち
 - ・にぎわいのあるまち
 - ・交通の充実したまち
- いつまでもきれいな自然、自然を活かしたまち
誰もが住みやすいまち、幅広い年代が楽しめるまち
農大生、高校生、障がい者などみんなが活躍
多世代、観光客など交流のあるまち
子どもを大切にするまち
専門病院、周産期医療の充実
情報発信と食のブランド化、知名度の高いまち
働く場所があり、産業が盛んなまち
たまり場の創出、中心市街地のにぎわい
バスやＪＲの運行本数の充実

(3) 必要な取り組み（市民ワークショップから）



(4) 市民の満足度と重要度（市民アンケートから）

本市のこれまでの取り組みに対する満足度と重要度についてアンケート調査を実施しました。

市民の皆さんが、重要度が最も高いと考えている項目は、「医療」「廃棄物処理・再資源化」「高齢者福祉」「生活福祉・社会保障」「保健」となりました。

この中で、満足度も高いとした項目は「保健」で、逆に満足度が低いとした項目は「生活福祉・社会保障」となりました。

その他では、重要度、満足度、共に高いとした項目は「消防・救急」「上水道・生活排水処理」「義務教育」となり、満足度が高いとした項目は「スポーツ」「火葬場・墓地」となりました。

一方、重要度は高いが、満足度が低いとした項目は「財政」「雇用労働対策」となり、満足度が低いとした項目は、「商業」「新産業創出」「土地利用市街地整備」となりました。

住みやすさに関する意識調査では、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」が、66.8%と全体の6割以上を占め、主な理由は、「自然環境が良いから」「日常生活が便利だから」となっています。

幸福感（豊かさ）に関する意識調査では、「心身の健康」が最も多く、次いで「家族との楽しい暮らし」「恵まれた自然」が挙げられています。

まちの将来像に関する意識調査では、「保健・医療・福祉が充実した健康で安心して暮らせるまち」が最も多く、次いで「日常生活が便利で快適に暮らせるゆとりあるまち」が多い結果となりました。

第2章 網走市の将来に向けて

1. まちづくりの理念
2. 目指す方向性
3. 将来像
4. 将来像を実現するための5つの目標
 - 目標1 一人ひとりを大切にするやさしいまち
 - 目標2 豊かな自然と共生する安心なまち
 - 目標3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち
 - 目標4 豊かなひとを育むまち
 - 目標5 とともに歩み、築く協働のまち



1. まちづくりの理念

“まち”は、そこに住む人々が快適でうるおいのある、創造性豊かな、夢と希望の持てる生活が営めるところでなければなりません。

私たちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、森と湖の美しい自然に囲まれた網走に住んでいます。

網走は、長きにわたって、たくましい先人が幾多の困難をのりこえて築きあげてきたまちです。

そして今、私たちは、この網走を、私たちの後を受け継ぐ世代へどのような姿で引き継ぐのか、という大きな責任をもっています。

このため、私たち一人ひとりが先人の知恵と力を継承し、網走がもっている資源を最大限に生かして、新しいまちづくりの道を拓かなければなりません。

ここに、私たちは、すべての市民が幸せを感じることができ、個性豊かで私たちが共に誇れる網走を、私たち自身の手によって築くため、人間尊重を基本に、まちづくりを進めます。

2. 目指す方向性

本市には、さまざまな魅力ある資源があります。

自然、気候、景観、文化、歴史、ひと、もの、まち、それぞれが魅力に溢れ、人を引き付けています。そのことは、本市を訪れる多くの観光客、アスリート、そして一定の期間、このまちで暮らす東京農業大学の学生たちが証明しています。

このまちは、私たちがまだ気づいていない、気づけない、魅力を秘めています。

人口減少・少子高齢化社会は、深刻な課題を次々に顕在化させますが、市民、団体、企業、行政などが、さまざまな形で連携を強め、深化させながら、一体となって、まちの魅力を守り、さらに引き出し、創出しながら、まちの持つポテンシャルを最大限に活かしたまちづくりを進めることにより、この難局を乗り越え、次の世代にも素晴らしい網走を引き継いでいきます。

誰もが
暮らしやすい
やさしい
まちづくり

まちの魅力を
引き出す、
創出する

さまざまな連携、
協働による
まちづくり

時代の変化にも
対応できる
持続可能な
まちづくり

3. 将来像

『豊かな自然に ひと・もの・まちが輝く健康都市 網走』

本格的な人口減少・少子高齢化社会の進行により、生活基盤の維持さえ困難な時代を迎えようとしています。網走の持つさまざまな魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めることにより、この難局を乗り越え、10年先も豊かで美しい自然の中、ひと・もの・まちが輝き続け、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちを将来像とします。

4. 将来像を実現するための5つの目標

将来像を実現していくために、5つの目標を掲げ、まちづくりを進めます。

目標1 一人ひとりを大切にするやさしいまち

1 取り組みの方向性

市民一人ひとりが生涯を通じて健康で、安心して生きがいをもって暮らすことができ、子ども、高齢者、障がいのある方などを地域全体で支えるやさしいまちを目指します。

2 取り組みの分野

1	保健医療	①保健 ②地域医療、救急医療
2	地域福祉	①地域福祉 ②高齢者福祉 ③障がい者福祉 ④子ども・子育て支援
3	生活福祉	①社会保障

目標2 豊かな自然と共生する安心なまち

1 取り組みの方向性

豊かな自然環境と水と緑が織りなす美しい景観を次代に継承し、自然と調和した快適な生活環境の創出を図るとともに、市民の命と暮らしを守る安全・安心なまちを目指します。

2 取り組みの分野

1	都市空間	①土地利用
2	都市基盤	①道路 ②港湾・漁港 ③公共交通 ④通信
3	生活安全	①防災・減災 ②消防 ③生活安全
4	環境	①自然環境、景観形成 ②生活環境 ③資源循環
5	生活基盤	①住宅・宅地 ②上水道 ③生活排水処理 ④火葬場・墓地

目標3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

1 取り組みの方向性

地域特性を活かしつつ、経営の効率化や高付加価値化などを進め、安全・安心で力強い産業振興を図りながら、まちの魅力を創出し、人が集い、にぎわいのある活力あふれるまちを目指します。

2 取り組みの分野

1	農林業	①農業 ②林業
2	水産業	①漁業 ②水産加工・販売促進
3	観光	①観光
4	商工業	①商工業
5	産業振興	①産業振興 ②就労対策

目標4 豊かなひとを育むまち

1 取り組みの方向性

子どもたち一人ひとりの夢を大切にしながら、明日を拓く「生きる力」を育むとともに、誰もが生涯を通じて学習、文化、芸術、スポーツに親しむことができ、スポーツや文化など地域特性を活かしたさまざまな交流により、豊かな人間性を育むまちを目指します。

2 取り組みの分野

1	学校教育	①学校教育 ②学校づくり ③高等学校、高等教育
2	社会教育	①生涯学習 ②社会教育
3	文化	①芸術文化 ②文化財保護
4	スポーツ	①スポーツ
5	交流	①国際交流、地域間交流

目標5 **ともに歩み、築く協働のまち****1 取り組みの方向性**

市民の積極的な市政への参画や情報共有等を推進しながら、市民と行政の信頼関係を深め、ともに考え、ともに築くまちを目指します。

また、時代のニーズに適応した効率的・効果的で持続可能な行政運営を進めるとともに、さまざまな連携により地域課題の解決を目指します。

2 取り組みの分野

1	地域協働	①男女共同参画・人権 ②市民活動 ③情報
2	行政運営	①行政運営 ②広域連携

第3章 計画の推進

1. 計画推進の考え方
2. 計画推進の手法
3. 計画の進行管理
 - (1) 点検・評価の実施
 - (2) PDCAサイクルに基づく行財政運営
 - (3) 計画の見直し



1. 計画推進の考え方

市民、団体、企業など多様な主体と行政が、目指すべきまちの姿と方向性を共有しながら、その実現に向けて対等な立場で互いに協力し、それぞれの持つ特性を最大限に発揮できるさまざまな連携・協働の取り組みを進めます。

また、誰もが健康で安心して暮らし続けられるよう、行政サービスの維持・向上と、社会経済情勢の変化に対応するため、行政改革と財政健全化に取り組みます。

2. 計画推進の手法

総合計画は、長期的な展望に立って、市の基本的な方向を総合的に示す「まちづくりの指針」であり、この指針に基づく各分野の個別計画などにより、具体的施策に取り組みます。

3. 計画の進行管理

(1) 点検・評価の実施

この計画の推進にあたっては、毎年度、各分野の主な事務事業の成果を取りまとめ、計画の効果的な推進が図られているかを評価・検証し、進行管理を行います。

(2) PDCAサイクルに基づく行財政運営

この計画に掲げた5つの目標を、限られた財源の中で進めていくためには、効果や優先順位を考えながら取り組んでいくことが重要です。

そのため、総合計画を基軸として各分野の個別計画や事務事業評価などと連携しながら、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)のPDCAサイクルによって進行管理を行い、効果的、効率的な予算編成や施策・事業の展開を図ります。

(3) 計画の見直し

中期的な点検・評価の結果や経済社会情勢の変化のほか、国や北海道の法制度等の動向、各種計画の策定状況なども踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを検討します。

網走市総合計画 基本計画



豊かな自然に
ひと・もの・まちが輝く健康都市
網走

目標1 一人ひとりを大切にするやさしいまち

目標2 豊かな自然と共生する安心なまち

目標3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

目標4 豊かなひとを育むまち

目標5 とともに歩み、築く協働のまち



目標 1

一人ひとりを大切にする
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 1 一人ひとりを大切にするやさしいまち

保健医療

- ①保健
- ②地域医療、救急医療

地域福祉

- ①地域福祉
- ②高齢者福祉
- ③障がい者福祉
- ④子ども・子育て支援

生活福祉

- ①社会保障



保健医療

① 保健

現状と課題

市民一人ひとりが生涯を通じて健康で暮らすために、健康づくりに対する意識啓発や情報提供、各種検診体制の充実による早期発見と早期治療、感染症予防などの充実が重要です。

本格的な少子高齢化社会を迎え、健康寿命の延伸への取り組みや、安心して妊娠、出産ができる環境づくりが、これまで以上に求められています。

基本方針

市民一人ひとりが健康を意識し、自ら主体的に健康づくりに取り組み、地域ぐるみで健康づくりを推進しながら、誰もが健康で自分らしく暮らせるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①健康づくりの推進	- 地域の健康づくり活動、健康学習の提供、充実 - 誰もが取り組める健康づくりの充実、環境整備 - 地域特性を活かした健康づくりの推進 - 健康づくりの意欲を高める啓発
②地域保健の充実	- 健康情報の提供、相談体制の確立 - 保健予防、保健指導の推進 - 各種健康診査・検診の充実 - 感染症予防の推進 - 心身共に健康で自立した生活ができる支援 - 食育の推進

関連する個別計画

- 網走市民健康づくりプラン
- 網走市国民健康保険特定健康診査等実施計画
- 網走市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）
- 網走市食育推進計画

健康寿命 --- 健康上の問題で日常生活が制限されることのない期間

保健医療

② 地域医療、救急医療

現状と課題

住み慣れた地域で将来にわたって安心して暮らせるよう、また、若い世代が安心して妊娠、出産、子育てができるよう、地域医療・救急医療の維持、充実が欠かせません。さらに、交流人口の拡大を図る上でも重要な要素となっています。

現状では、地域医療・救急医療は維持されていますが、一方で、地方では、医師、看護師などの医療従事者の不足が深刻化しています。

持続可能な地域医療・救急医療の維持、充実を図るため、関係機関との連携を深めるとともに、適正受診などの問題に対して、市民、医療機関、行政の共通認識と理解が求められています。

基本方針

医療体制の維持、充実に努め、市民が安心して暮らせるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①地域医療体制の充実	- 機能分担による病診連携の促進 - 地域センター病院の機能充実 - 小児、周産期医療体制の充実 - 医師、看護師、薬剤師など医療従事者の確保 - 地域医療を支える情報共有と連携
②救急医療体制の充実	- 救急医療体制の充実、確保 - 救急医療を支える情報共有と連携

関連する個別計画

- 網走市民健康づくりプラン
- 網走地区消防組合救急業務高度化推進計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

地域福祉

① 地域福祉

現状と課題

市民一人ひとりが安心して暮らすためには、これまで以上に地域福祉の推進が欠かせませんが、単身世帯や高齢者世帯が増加する中、地域社会とのつながりの希薄化により、地域に対する関心が低下しています。

また、地域福祉活動の担い手の高齢化や不足などにより、推進体制の維持・確保が課題となり、市民それぞれが持つ多様な価値観から、そのニーズも多様化しています。

多様な担い手による、持続可能でさまざまな課題に対して対応可能な新たな体制をつくるとともに、人材の育成を図ることが必要となっています。

基本方針

子ども、高齢者、障がいのある人などを社会全体で見守りながら、市民一人ひとりが健康で文化的な生活ができるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①地域福祉推進体制の充実	▪ 地域で支え合う福祉サービスの仕組みづくり ▪ 希望や自立につなぐセーフティーネットの整備 ▪ 災害時に備えた地域支援体制の構築 ▪ 権利擁護体制の充実 ▪ 地域共生社会の推進
②地域福祉活動の促進	▪ 地域福祉を担う人材の育成と確保 ▪ 地域福祉の核となる次世代の育成
③バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	▪ 住民主体による支え合う地域づくり ▪ ユニバーサルデザインのまちづくり

関連する個別計画

- 網走市高齢者保健福祉計画
- 網走市介護保険事業計画
- 網走市障がい者福祉計画

セーフティーネット ―― 事故や災害などの予期せぬ不幸な出来事に遭遇した場合、最悪の事態から保護する仕組み

バリアフリー ―― 全ての人が利用する上で障壁（バリア）となっているものを取り除くこと

ユニバーサルデザイン ― 年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン

地域福祉

② 高齢者福祉

現状と課題

高齢化の進展に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増え、支援が必要な高齢者や認知症などへの対応が増加傾向にあります。

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が送れるよう、多様な主体の連携により、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進が求められています。

一方で、元気で活動的な高齢者が地域社会の担い手として活躍できる体制を整備し、高齢者が豊富な知識や経験を活かすことで社会的な役割を持ち、生きがいを感じられるまちづくりが求められています。

基本方針

高齢者が住み慣れた地域で安心して、健康で、いきいきと暮らせるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①高齢者の健康づくり	▪ スポーツ等を通じた健康の維持、増進 ▪ 健康教育、健康相談の推進 ▪ 健康診査、がん検診の推進 ▪ 訪問指導の充実
②高齢者の生きがいづくりの推進	▪ 学習機会の充実 ▪ 就業機会の確保 ▪ 社会参加の促進
③介護予防の推進	▪ 介護予防の普及啓発 ▪ 介護予防教室の充実
④地域包括ケアシステムの深化・推進	▪ 医療と介護の連携推進 ▪ 高齢者のニーズに応じた住まいの充実 ▪ 介護予防、生活支援の充実 ▪ 支え合う地域づくりの推進
⑤認知症対策の推進	▪ 認知症高齢者の見守り体制の構築 ▪ 認知症高齢者と家族に対する支援の充実
⑥施設サービスの充実	▪ 身体状況等に応じた施設サービスの確保

関連する個別計画

- 網走市高齢者保健福祉計画
- 網走市介護保険事業計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

地域福祉

③ 障がい者福祉

現状と課題

障がいのある人が、地域の中で共に暮らせる社会の実現には、自立した生活の支援や適切なサービスの提供、社会参加の拡大、就労支援などに加え、障がいに対する差別、偏見をなくし、理解を深めることが大切です。

また、支援の必要な児童の育成では、早期の「気づき」と一貫した支援体制の充実により、障がいの軽減および基本的な生活能力の向上を図り、自立と社会参加の促進が求められています。

基本方針

障がいの有無に関わらず、誰もが生きがいをもって暮らせるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①障がいの理解促進	- 障がいの理解を深める活動の推進 - 障がいのある人の人権尊重、差別解消の推進
②障がい者の生活支援	- 相談支援窓口の充実、強化 - 生活支援体制とサービスの充実 - 外出しやすい環境と地域安全対策の充実
③障がい者の就労と社会参加の拡大	- 就労の推進 - 多様な働き方への支援 - 社会参加への支援
④障がい者福祉施設の充実	施設サービスの充実
⑤子どもの発達への支援	- 早期の「気づき」と一貫した支援体制の充実 - 保護者を含めた相談機能の充実

関連する個別計画

- 網走市障がい者福祉計画
- 網走市障がい福祉計画
- 網走市障がい児福祉計画

地域福祉

④ 子ども・子育て支援

現状と課題

少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化、共働き世帯の増加、近隣住民とのつながりの希薄化などから、子育て世帯を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした中、子育ての孤立感や負担感、育児不安の解消を図るため、子育てを地域全体で見守り、支援することが必要となっています。

基本方針

子どもを安心して生み育てることができるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①子育てを地域で支援する体制や意識づくり	▪ 地域における子育て支援の推進 ▪ 子育て支援ネットワークの充実 ▪ 子育て支援機能の充実
②子育て支援の充実	▪ 子育て支援サービスの充実 ▪ 相談支援体制の充実 ▪ 多子世帯支援の充実 ▪ 子どもの健全育成支援の充実
③児童福祉施設の充実	▪ 児童福祉施設機能の充実 ▪ 子育て環境の整備
④支援が必要な子育て世帯への支援の充実	▪ ひとり親家庭への支援の充実 ▪ 児童発達支援機能の充実 ▪ 児童虐待防止対策の充実
⑤家庭教育に関する支援	▪ 育児不安解消に関する情報収集と解消機会の提供 ▪ 家庭教育に関する学習機会の提供

関連する個別計画

- 網走市子ども・子育て支援事業計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標1

一人ひとりを大切にする
やさしいまち

生活福祉

① 社会保障

現状と課題

国では、少子高齢化の進展に伴い、社会保障の安定した運営を図るため、継続的な制度改革が取り組まれています。

誰もが、必要とするときに必要な社会保障が受けられることにより、安心して暮らすことができます。市では、社会保障制度の適切かつ安定した運営に努めます。

基本方針

誰もが、必要とするときに必要な社会保障を提供することにより、安心して暮らすことのできるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①国民健康保険事業の推進	- 国民健康保険制度の安定運営 - 被保険者への各種検診の支援
②後期高齢者医療事業の推進	- 後期高齢者医療制度の安定運営 - 被保険者への各種検診の支援
③国民年金事業の推進	国民年金制度の周知、相談の充実
④生活保護事業の推進	- 生活保護制度の周知、相談の充実 - 生活保護事業の適正な実施 - 自立支援体制の充実

目標2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4

豊かなひとを育むまち

目標5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 2 豊かな自然と共生する安心なまち

都市空間

① 土地利用

都市基盤

① 道路

② 港湾・漁港

③ 公共交通

④ 通信

生活安全

① 防災・減災

② 消防

③ 生活安全

環境

① 自然環境、景観形成

② 生活環境

③ 資源循環

生活基盤

① 住宅・宅地

② 上水道

③ 生活排水処理

④ 火葬場・墓地



都市空間

① 土地利用

現状と課題

豊かなオホーツク海に面し、網走湖、能取湖のほか、ラムサール条約登録湿地「瀧沸湖（とうふつこ）」をはじめ大小5つの湖沼、名勝・天都山、広大な農地、森林など、自然豊かなまち並みを形成しています。

将来にわたり、優れた自然環境の保全と市民が暮らしやすいまちづくりの両立を目指して、市街地における適切なエリアの配置とともに「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を基本に土地利用等を進めていくことが求められます。

基本方針

秩序ある土地利用を推進し、豊かな自然環境に包まれた美しいまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①総合的な土地利用	■ 均衡のとれた秩序ある土地利用の推進 ■ 地域にあった土地利用の規制、誘導
②市街地の土地利用	■ コンパクトなまちづくりの推進 ■ 活力のある市街地の形成
③水辺の環境軸づくり	■ 水辺空間を活用した土地利用の推進 ■ 海岸、河川、湖畔などの保全、維持管理
④森の環境軸づくり	■ 森林の保全、適正な維持管理
⑤まちの緑の環境づくり	■ まちの緑化の適正な維持管理 ■ 公園、緑地の管理体制の充実

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市景観と緑の基本計画
- 網走市公共施設等総合管理計画
- 網走市環境基本計画

ラムサール条約 ----- 締約国には、国際的に重要な湿地を登録するほか、登録地の保全、国内湿地の適正利用促進計画の作成や国際協力の推進などが求められます。

コンパクトシティ・プラス・ネットワーク ----- 医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、誰もが安心して暮らせる、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり

都市基盤

① 道路

現状と課題

国道、道道、市道で形成される道路網は、市民の生活をはじめ、産業や観光を支える、また、近年多発する集中豪雨や暴風雪などの自然災害のほか、火災などから市民の生命や財産を守る重要な基盤です。

一方で、老朽化する現状の道路、橋梁を安全に維持するためには、コンパクトシティの理念を基本に可能な限りの長寿命化が求められています。

点検の強化などにより劣化状況の把握に努め、災害や交通事故の危険性なども考慮した計画的な対応により、安全で安心な道路環境の維持、改善が求められています。

基本方針

戦略的な道路整備により、市民生活や基幹産業を支える、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①円滑な都市活動を支える骨格道路づくり	■ 道路交通ネットワークの充実 ■ 幹線道路の整備 ■ 生活道路の充実 ■ 北海道横断自動車道網走線の整備要望
②安全・安心な道路づくり	■ 安全に配慮した道路整備 ■ 適切な維持管理、長寿命化の推進 ■ 安全管理体制の充実
③歩行者にやさしい道路づくり	■ 安全な歩道の確保 ■ 通学路の整備、維持管理

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市公共施設等総合管理計画

コンパクトシティ -- 都市の中心部に行政、商業、住宅などの都市機能を集積することなどによって、市街地の活性化や住民の利便性を向上させようとする考え方

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

都市基盤

② 港湾・漁港

現状と課題

重要港湾・網走港では、取り扱い貨物量の減少から、新たな取り扱い貨物の開拓や大型客船の誘致のほか、企業誘致により港湾の物流機能の強化を図るとともに、漁港区においては、水産物の物流拠点として機能の充実や環境整備が求められています。

また、川筋地区・モヨロ地区では、良好なウォーターフロント空間を活かした観光交流拠点として、にぎわいの創出や交流人口の拡大が求められています。

漁港については、水産物の物流拠点として機能の充実や環境整備が求められています。

一方で、老朽化する施設を安全に維持するためには、点検の強化などにより劣化状況の把握に努め、災害なども考慮した計画的な対応により、安全で安心な港湾、漁港の整備が求められています。

基本方針

各港の環境整備や機能の向上により、北網圏の産業、生活を支える、安全・安心でにぎわいのある港づくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①安全・安心な港づくり	▪ 港湾の利用促進 ▪ 港湾施設の適切な維持管理 ▪ 港湾施設の防犯保安対策の強化 ▪ ポートセールスの推進
②漁港の整備、機能の向上	▪ 漁港の機能強化 ▪ 漁港施設の適切な維持管理

関連する個別計画

- 網走港港湾計画
- 網走市公共施設等総合管理計画

ウォーターフロント空間 -- 水辺、水際の空間。特に都市生活者のうるおい空間として整備されたもの

都市基盤

③ 公共交通

現状と課題

誰もが安全・安心で便利に暮らすことのできる生活空間を形成するため、鉄道やバスなどの公共交通機関の適正な体制が求められており、公共交通の空白地域における対応も含め、持続可能な公共交通網の形成が必要となっています。

特に鉄道については、JR 北海道では、石北本線、釧網本線、共に単独では維持困難な線区としており、鉄道の維持、存続に向けた取り組みが重要です。

また、女満別空港においては、道内7港の一括民間委託が進められる中、より一層の利用促進が求められています。

基本方針

市民や網走を訪れる方のニーズに即した効率的な公共交通の提供を図り、安全・安心で利便性の高いまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①総合的な公共交通網の構築	持続可能な公共交通体系の検討、構築
②鉄道の維持、利用促進	- 鉄道利用の促進 - 鉄道の維持、存続に向けた取り組み
③バス路線の適正配置、利用促進	- 市内交通路線および郊外交通路線の交通体系整備 - 地域間交通路線の適正な運行
④女満別空港の機能充実、利用促進	- 航空ネットワークの充実強化 - LCC 等の新規路線の誘致 - 空港機能施設および外国人観光客受け入れ体制などの強化 - 地域活性化につながる二次交通の充実

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン
- 網走市地域公共交通総合連携計画

LCC --- 低コスト運営で、安い運賃を提供する航空会社。「ローコストキャリア」

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

都市基盤

④ 通信

現状と課題

ICTの進展は、ライフスタイルにおいて、コミュニケーション、情報収集、購買、余暇、就労など、さまざまな分野で変化をもたらし、一方で、トラブルや犯罪など社会的課題も抱えています。

さらに、ビッグデータ、AI、IoT、ロボットなどとの組み合わせにより、生産、販売、消費といった経済活動のほか、健康、医療などの幅広い分野で影響を与えると考えられています。

また、光ファイバーなどブロードバンドの整備が進められていますが、未整備地区の解消が課題となっているほか、Wi-Fi環境の充実が求められています。

基本方針

市民や網走を訪れる方へ利便性の高い通信環境の提供を進め、快適なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①高速・大容量の通信基盤の整備	光ファイバー網などブロードバンド基盤の整備促進
②通信網の整備、活用	住民利便性向上の推進
③Wi-Fi環境の充実	公衆無線LANの環境整備

- ICT----- 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」
 ビッグデータ----- インターネット上で収集、分析できるようになった膨大なデータ
 AI----- 人工知能。人間の知的活動の一部をコンピュータによって実現すること
 IoT----- 色々なものがインターネットとつながることで利便性を高めた使い方ができること
 ブロードバンド----- 高速で大容量の情報が送受信できる通信網。広帯域通信網
 Wi-Fi----- パソコンやスマホなどを、無線でインターネットにつなぐことのできる技術

生活安全

① 防災・減災

現状と課題

近年、国内外で大規模な自然災害が発生しており、市民の安全・安心に対する意識が高まっています。

災害を未然に防ぎ、災害に備え、災害発生時には迅速に対応できるよう、ハード面、ソフト面の両面から防災体制を強化することが重要になっています。

また、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害の教訓から、「自助・共助・公助」が密接に連携することが重要であり、公助による防災対策の推進はもとより、「自分のことは自分で守る」（自助）と「自分たちの地域は自分たちで守る」（共助）の意識の向上と体制の構築により、地域防災力を高めることが求められています。

さらに、自然災害以外にも、大規模事故、国民保護法で想定される武力攻撃事態なども含め、さまざまな事案に対応した、危機管理体制づくりが求められています。

基本方針

災害を未然に防ぎ備える、災害に強い、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①防災・減災に向けた環境整備	- 災害に備えた公共施設等の整備の推進 - 避難所の環境整備と災害用備蓄品の充実 - 防災情報発信体制の充実 - 防災ガイドブック、ハザードマップなどによる防災意識の啓発
②災害に強い体制づくり	- 災害時要配慮者への支援体制の充実 - ボランティア協力体制の整備推進 - 自主防災組織の相互協力体制の推進 国、道、民間組織との連携による防災・減災体制の強化
③地域防災力の向上	- 自主防災組織の活動促進 - 防災訓練、研修による防災意識の向上 - 地域による避難所運営体制の構築 - 地域における防災のリーダー役となる人材の育成

関連する個別計画

● 網走市地域防災計画 ● 網走市国民保護計画 ● 網走市公共施設等総合管理計画

公共施設等 ――― 庁舎、学校など構築物と道路、橋梁、上下水道などインフラを合わせたもの

ハザードマップ ― 予測される災害の発生地点や被害の範囲、避難場所などを示した地図

災害時要配慮者 ― 高齢者、障がい者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

生活安全

② 消防

現状と課題

近年、多発する自然災害や人口減少・少子高齢化の進展に伴い、多様化する消防需要に対して、総合的な消防力の向上による迅速かつ的確な対応が求められています。

また、市民、団体等に対する防火・防災意識の啓発により、火災を未然に防ぐとともに、自然災害に対する備えの強化が求められています。

さらに、地域の防火・防災を担う消防団の役割はますます重要となり、その機能の充実や体制の強化が求められています。

基本方針

市民一人ひとりの防火・防災意識の高揚を図りながら、火災や自然災害などへの対応力を強化し、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①消防力・機能の充実	常備消防体制の充実
②防火・防災意識の啓発	- 防火、防災意識の啓発活動の充実 - 市民の自主的な防災活動の参加推進
③地域における防災体制の推進	消防団の体制、機能の強化

関連する個別計画

- 網走市地域防災計画
- 網走地区消防組合消防計画
- 網走地区消防組合緊急消防援助隊受援計画
- 網走地区消防組合消防団充実強化計画
- 網走地区消防組合公共施設等総合管理計画

生活安全

③ 生活安全

現状と課題

犯罪件数は減少傾向にありますが、社会全体では凶悪犯罪や特殊詐欺が発生し、犯罪手段も多様化しています。

交通事故についても減少傾向にありますが、若者、女性、高齢者の運転による事故割合が高い状況にあります。

消費生活においては、高齢者が悪質商法、振り込め詐欺など、特殊詐欺の被害に遭う事例のほか、インターネット環境の普及により、悪質サイトによる被害が発生しています。

防犯活動および交通安全運動に対する市民意識の向上を図るとともに、悪質商法など消費者被害の未然防止に取り組む必要があります。

基本方針

防犯、交通安全および消費生活に対する意識を高め、地域や関係団体との連携を強めながら、犯罪や交通事故のない、安全・安心なまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①防犯の推進	▪ 地域における防犯活動の推進、強化 ▪ 関係団体と連携した啓発活動等の推進
②交通安全の推進	▪ 子どもと高齢者への交通安全教室の充実 ▪ 交通安全啓発活動の推進 ▪ 交通安全運動の推進
③消費生活の推進	▪ 消費生活相談、情報提供の充実 ▪ 関係機関、団体等と連携した啓発活動等の推進

関連する個別計画

- 網走市交通安全計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

環境

① 自然環境、景観形成

現状と課題

オホーツク海、網走川、5つの湖沼、名勝・天都山、能取岬など、水と緑が織りなす豊かな自然環境と美しい景観に包まれています。豊かな自然環境は、生活にやすらぎやうるおいを与える貴重な財産です。

地球温暖化の進行により、近年の異常気象や猛暑日の増加など、さまざまなリスクが高まる中、自然環境の適切な保全や賢明な利用に努め、次代に継承することは、今を生きる私たちの責務と言えます。

そのためには、市民のほか、団体、企業などの自然環境に対する意識高揚が欠かせません。

環境教育の充実や、産業における環境保全の推進など、自然環境や景観に配慮した、自然と共生するまちづくりが求められます。

基本方針

自然環境の保全と賢明な利用を図り、人と自然が共生するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①自然環境の適切な保全	- 自然環境の保全と賢明な利用に向けた意識啓発 - 森林環境の保全と育成 - 多様な生態系の保全
②環境教育・学習の充実	- 環境問題の意識向上啓発 - 環境教育、学習拠点、学習機会の充実 - 地球温暖化防止対策の普及啓発、推進
③環境保全型産業の推進	環境に配慮した産業の推進
④環境美化の推進	- 市民参加による清掃活動の推進 - ポイ捨てしないきれいなまちづくりの推進

関連する個別計画

- 網走市環境基本計画
- 網走市役所地球温暖化対策実行計画
- 濤沸湖環境保全活用ビジョン

環 境

② 生活環境

現状と課題

人の暮らしや産業活動に起因して、油の流出、悪臭、騒音、振動など、生活環境に関わるさまざまな課題が発生します。

豊かで美しい自然環境に暮らす私たちには、こうした課題の未然防止に努めるとともに、事故などの発生時には、迅速な対応によりその影響を最小限にとどめるなど、大気環境や水環境などの保全に取り組むことが求められます。

基本方針

美しい自然環境を公害から守り、安心でうるおいのあるまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①生活環境の保全	- 生活環境に対する意識の向上啓発 - 大気環境の保全 - 水環境の保全
②生活環境の汚染の防止	- 排水対策の推進 - 有害物質の発生抑制 - 騒音と振動の防止対策
③生活環境の汚染の監視、対応	- パトロールの強化と環境汚染防止の啓発 - 汚染の実態調査と指導

関連する個別計画

- 網走市環境基本計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

環境

③ 資源循環

現状と課題

地球温暖化の進行による異常気象の頻発や新興国のエネルギー需要の増大など、環境に負荷の少ない再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策の重要性が一層高まっています。

また、ごみ処理では、減量化やりサイクルなど、限りある資源の有効活用が求められています。

次世代へ良好な環境を引き継ぐためにも、環境に負荷の少ない循環型社会の形成が求められています。

基本方針

限りある資源を大切にし、有効活用する資源循環型社会を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①資源循環システムの構築	- ごみの減量化の推進 - 再利用、再資源化の促進 - ごみ・資源物の分別意識の向上 - 埋め立てごみ減量化の推進
②省エネルギーの推進	- 無駄なエネルギー消費の削減に関する啓発 - エネルギー負荷の少ない商品を選択するための啓発
③クリーンエネルギー利用の推進	- クリーンエネルギーに関する啓発 - 地域性を活かしたエネルギー利用の推進

関連する個別計画

- 網走市一般廃棄物処理基本計画
- 網走市環境基本計画

再生可能エネルギー — 一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源

クリーンエネルギー — 電気、熱などに変えても二酸化炭素、窒素酸化物などの有害物質を排出しない、または少ないエネルギー

生活基盤

① 住宅・宅地

現状と課題

人口減少・少子高齢化の進展は、高齢者世帯、単身世帯の増加につながり、空き家問題が生じるなど、住環境にさまざまな変化をもたらします。

高齢者世帯、子育て世帯、障がい者世帯など、さまざまな世帯構成に応じた住宅施策が求められており、誰にもやさしいユニバーサルデザインの推進のほか、深刻な地球温暖化の問題から、低炭素住宅の推進が求められています。

また、コンパクトシティの概念や、それぞれの生活スタイルに応じたエリア別の住環境の提供が必要となっています。

基本方針

豊かな自然と調和した快適な住環境を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①快適な住環境の整備	- ユニバーサルデザインの普及啓発 - 安全、快適な住環境の整備促進 - 住み替えなど多様な世帯に対応する住環境の整備促進
②環境に配慮した住環境づくり	- 省エネ住宅の普及促進 - 環境と共生する住環境づくりの推進
③住宅ストックの有効活用	- 空き家バンクの整備、充実 - 住宅関連事業者との連携強化 - 住宅ストックの長寿命化

関連する個別計画

- 網走市住生活基本計画
- 網走市公営住宅等長寿命化計画
- 網走市住宅供給計画

ユニバーサルデザイン ― 年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

生活基盤

② 上水道

現状と課題

上水道施設は、市民生活や経済活動において欠くことができない大切なライフラインであり、安全で美味しい水を安定的に供給することが重要です。

また、人口減少・少子高齢化により収益の減少が見込まれる中、施設の老朽化対策に取り組むことが必要となるため、効率的で健全な経営が求められます。

さらに、自然災害などの災害リスクの高まりから、災害時に備えた危機管理体制の強化も必要となっています。

基本方針

安全で安心な水道水の供給と健全な経営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①水道システムの安定性向上	▪ 水源の保全 ▪ 水質管理の徹底 ▪ 配水圧の適正化
②災害対策の推進	▪ 施設の耐震化 ▪ 漏水対策、災害対策の整備と強化
③健全な経営	▪ 住民ニーズの把握と対応 ▪ 老朽施設の更新 ▪ 経営の効率化 ▪ 水道技術の向上と継承

関連する個別計画

- 網走市水道ビジョン

ライフライン --- 電気、ガス、上下水道、交通、通信など市民生活の基盤

生活基盤

③ 生活排水処理

現状と課題

下水道施設は、河川や湖沼などの水環境の保全と快適で衛生的な生活環境に欠くことができない大切なライフラインです。

また、人口減少・少子高齢化により、収益の減少が見込まれる中、施設の老朽化対策に取り組むことが必要となるため、下水道汚泥を活用した発電事業など資源の有効活用も含め、効率的で健全な経営が求められます。

さらに、自然災害などの災害リスクの高まりから、災害時に備えた危機管理体制の強化も必要となっています。

基本方針

快適で衛生的な生活環境を実現し、水環境を守るとともに健全な経営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①持続的な下水道サービスの提供	▪ 下水道施設の整備 ▪ 雨水、污水管渠の整備 ▪ 災害対策の充実
②健全な経営	▪ 経営の効率化 ▪ 計画的、効率的な維持管理、整備の推進
③下水汚泥・消化ガスの有効活用	▪ 下水汚泥堆肥の試験研究、利用促進 ▪ 下水汚泥消化ガスを利用した発電事業の実施
④個別排水処理施設の普及促進	▪ 個別排水処理施設の整備促進 ▪ 個別排水処理施設の効率的な維持管理

関連する個別計画

- 網走市生活排水処理基本計画
- 網走市公共下水道事業計画
- 網走市公共下水道事業特別会計経営健全化計画

目標1
一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標2
豊かな自然と共生する
安心なまち

目標3
ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標4
豊かなひとを育むまち

目標5
ともに歩み、
築く協働のまち

生活基盤 ④ 火葬場・墓地

現状と課題

目まぐるしい社会経済情勢の変化や少子高齢化の進展は、ライフスタイルや価値観の変化を生み、ニーズの多様化へとつながっています。
火葬場、墓地についても、利用需要の変化を適切に捉えながら、適切な運営や環境整備が求められています。

基本方針

利用需要の変化に対応しながら、火葬場・墓地の適切な維持管理に努めます。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①火葬場の管理	▪ 火葬場の維持管理および環境美化
②墓地の管理	▪ 墓地の維持管理および環境美化
③合葬墓の管理	▪ 合葬墓の維持管理および環境美化

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち

農林業

- ① 農業
- ② 林業

水産業

- ① 漁業
- ② 水産加工・販売促進

観光

- ① 観光

商工業

- ① 商工業
- 産業振興
 - ① 産業振興
 - ② 就労対策



農林業

① 農業

現状と課題

国際貿易競争の激化、就農者の高齢化、担い手不足、消費者の食に対する安全・安心への高まりなど、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

これらの問題を解決し、あばしり農業が持続的に発展するためには、優良農地の確保や経営安定のほか、農商工連携などによる付加価値の高い農畜産物づくり、さらには、ICT、IoTの技術を取り入れたスマート農業の推進などが必要となっています。

また、家畜ふん尿、農薬、過肥などにより生じる環境負荷に対して、行政と農業関係者が一体となったモラルの向上や規範づくりが求められています。

基本方針

「足腰の強い」農業生産基盤を形成し、環境にも配慮した持続的発展が可能な農業を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①安定した生産体制づくり	- 農用地の保全 - 生産基盤、経営体質の強化 - 防疫体制の強化 - 鳥獣被害防止対策の推進
②環境と調和した農業の推進	環境保全型農業の推進
③活力ある農業の推進	- 担い手の育成、確保 - スマート農業の推進 - 地産地消の推進 - 高付加価値化、ブランド化の推進

関連する個別計画

- 網走市農業振興計画
- 網走市農業振興地域整備計画
- 網走市酪農・肉用牛生産近代化計画
- 網走市家畜排せつ物利用促進計画
- 網走市鳥獣被害防止計画

ICT ----- 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」

IoT ----- いろいろなものがインターネットと繋がることで利便性を高めた使い方ができること

スマート農業 -- 先端技術による省力化や大規模生産、品質の向上などを目指す新たな農業

農林業

② 林業

現状と課題

森林は、経済価値のほか、水源かん養、水の浄化などの機能を持ち、野生生物の生息場所はもとより、レクリエーションや環境教育の場となるなど、多面的な機能を持っています。

本市の森林面積は市全体の約3割を占めており、林業・林産業の振興を図るため、計画的な造林や森林施業に取り組み、長期的な視点で森林の育成と保全を推進していくことが求められています。

また、民有林については、経済林としての機能を保ちつつ、適切な伐採や植林が行われるよう、森林更新を促進していくことが必要です。

基本方針

森林の重要性を啓発するとともに、うるおいのある森林と共生するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①森林の保全、環境整備	- 森林資源の保全と適正な維持管理 - 森林監視体制の強化 - 人工造林や除間伐の推進 - 市街地周辺の森林に親しめる場の整備
②森林施業の推進	- 生産基盤の強化 - 林業従事者の育成、確保 - 森林組合の基盤強化
③森林や林業に対する理解促進	- 木育の推進 - 緑化運動の推進 - 森林の利活用促進

関連する個別計画

- 網走市森林整備計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

水産業

① 漁業

現状と課題

オホーツク海での沖合・沿岸漁業や、網走湖などでの内水面漁業が盛んに行われており、豊富な水産資源は「おいしいまち網走」の代名詞となっています。

将来にわたって安定した生産を維持するためには、試験・研究機関との連携、協力により、漁場環境調査や資源管理型漁業の推進、「つくり育てる漁業」の取り組みが重要となっています。

また、国際貿易競争の高まりや消費者の食に対する安全・安心への高まりから、衛生管理体制の強化が求められています。

さらに、海面、内水面ともに環境保全への取り組みが重要であり、周辺流域からの土砂流出などによる湖の浅化への対応など、流域環境と水質保全に対する取り組みが求められています。

基本方針

適切な漁場環境の保全と資源管理に努め、戦略的な漁業を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①資源管理型漁業の推進	- 資源管理対策の推進 - 漁獲管理体制の強化
②つくり育てる漁業の推進	- 増殖事業の推進 - 新しい漁業資源の造成への取り組み
③漁場環境の保全	- 漁場環境保全の推進 - 湖沼、河川環境の保全
④試験研究機関との連携	試験研究機関との連携、協力、情報の共有

関連する個別計画

- 新網走市水産振興計画

水産業

② 水産加工・販売促進

現状と課題

豊富な水産物、水産加工品のブランド化や高付加価値化を進めると同時に、衛生管理体制の強化を進め、国内はもとより国外も視野に販路の拡大を図り、地域経済の活性化につなげることが求められます。

また、地元での消費の拡大により地域の食に貢献するとともに、観光や合宿で網走を訪れる多くの方々の食にも貢献することにより、交流人口の拡大にも寄与することが期待されます。

基本方針

ブランド力のある水産のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①水産物の付加価値の向上	- 水産物のブランド化の推進 - 新製品開発等の推進
②水産加工業の振興	- 人材確保、育成の推進 - 衛生管理体制の強化と安全・安心な水産加工品の提供
③水産物・水産加工品の消費と販路の拡大	- 地場水産物の認知度向上、消費拡大の推進 - 地場水産物、加工品の大消費地等への販路拡大

関連する個別計画

- 新網走市水産振興計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

観光

① 観光

現状と課題

人口が減少傾向にある中、観光客などの交流人口の拡大により人口減少の影響を緩和し、地域の活性化を図ることが重要になっています。

国内観光客はもとより、近年増加傾向にある外国人観光客をいかに誘客できるかが課題となっており、自然、食、景観、観光施設など、さまざまな地域特性を活かしながら、ここでしか体験できない魅力の創出や強化のほか、観光業を担う人材の育成、さらに多様な交通手段の提供など、観光客のニーズを的確に捉え、その時々に応じた迅速かつ戦略的な観光施策の展開が求められています。

基本方針

誰もが訪れたい、魅力ある観光のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①観光客の利便性向上	- Wi-Fi や外国語対応等の環境整備 - 人材育成なども含めたホスピタリティの向上 - 交通アクセスの円滑化
②地域の魅力向上と観光資源の磨き上げ	- 地域資源を活用した観光価値の向上と高付加価値化 - 観光消費額の拡大
③地域の魅力の戦略的な発信	効果的な情報発信とプロモーションの展開
④多様な連携による観光の推進	- 広域も含めた地域連携の強化 - 誘客や滞在促進につながる広域・拠点周遊観光の促進 - 多様な関係者との連携による新たな観光地域づくり

関連する個別計画

- 網走市観光振興計画

Wi-Fi ----- パソコンやスマホなどを、無線でインターネットにつなぐことのできる技術
ホスピタリティー 観光客への対応、おもてなし

商工業

① 商工業

現状と課題

人口減少・少子高齢化、情報通信技術の急速な発展などにより、大都市圏への人口や資本の集中から、地方経済の疲弊が加速することが懸念されています。

こうした中、さまざまな環境の変化に対応できるよう、経営基盤の強化や人材育成に取り組むとともに、高齢者や外国人観光客の増加、ICTの進展など変化する消費者ニーズに対応することが課題となっています。

また、商店街等についてはにぎわいの創出と活性化を図り、魅力を向上することが求められています。

新たな工場の立地に向けては、再生可能エネルギーの活用や既存の企業との連携など、地域特性を活かした企業誘致が求められています。

基本方針

中小企業の経営強化を図るとともに、にぎわいのある商業地の形成を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①中小企業の振興	▪ 中小企業の経営強化、支援の充実 ▪ 人材確保、育成の推進
②都市拠点としての機能の強化	▪ 中心市街地の活性化 ▪ 網走駅周辺の活性化
③魅力ある沿道商業ゾーンの形成	▪ 消費者ニーズに対応した魅力ある商業ゾーンの形成
④新たな企業誘致を促す環境整備	▪ 企業立地に係る環境整備 ▪ 企業誘致の促進
⑤新エネルギーの利用促進	▪ 再生可能エネルギーの利活用促進

関連する個別計画

- 網走市都市計画マスタープラン

ICT ————— 情報・通信に関する技術の総称。「情報通信技術」

再生可能エネルギー — 一度利用しても再生可能な、枯渇しないエネルギー資源

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

産業振興

① 産業振興

現状と課題

人口減少・少子高齢化により国内消費の減少が見込まれる中、一方で経済のグローバル化により国際競争力を高めることが求められています。

こうした中、一次産業や東京農業大学などの地域の強みを最大限に活かしながら、地域活性化を担う人材の育成に取り組み、農商工連携や各種研究機関、金融機関などとの連携による新たな事業の創出、生産性の向上や高付加価値化の推進など、地域経済の活性化を図ることが重要となっています。

基本方針

地域特性を活かしたさまざまな連携による新産業の創出を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①ブランド化と高付加価値化の推進	- ものづくり支援の充実 - 商品等のPR促進
②国内外への販路拡大に向けた支援	- ふるさと納税制度を活用した特産品PR - 地場産品の市場開拓、販路拡大の推進
③6次産業化、農商工連携の推進	- 一次産業、研究機関、金融機関など多様な連携 - 東京農業大学との連携強化 - 人材の育成
④創業支援	起業化、新たな事業化に対する支援の充実

関連する個別計画

- 網走市創業支援事業計画

産業振興

② 就労対策

現状と課題

本格的な人口減少・少子高齢化の進展により、医療、福祉、建設、交通など、さまざまな分野での人手不足が深刻化しています。

東京農業大学の学生は、希望する職種のミスマッチから地元で就労することが極端に少なく、同じ傾向として、大学などへの進学により地元を離れた学生たちの U ターン就労も少ない状況となっており、若年層に対する就労対策が課題となっています。

また、今後の労働力を確保するためには、高齢者や女性の活躍が欠かせないことから、就労機会の充実や環境整備を進めることが重要であり、多様な労働力確保の取り組みが求められています。

さらに、本格的な高齢化社会を迎え、障がい者の就労支援を通じて心のバリアフリーを進めながら、誰にでもやさしいまちづくりが求められています。

基本方針

誰もが生きがいを持って就労できる環境整備を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①就労支援	- 就労に関する情報提供の充実 - U・I ターンの推進 - インターンシップの促進 - 女性、高齢者の就労支援の充実 - 障がい者雇用の推進 - 季節労働者の通年雇用化の促進
②勤労者福祉の充実	- 労働相談の充実 - 職業能力開発の促進 - 労働環境、労働諸条件の改善促進 - 勤労者の共済制度、福利厚生の充実 - 勤労者福祉施設の充実

心のバリアフリー — 一人ひとりがお年寄りや障がいのある人のことを理解し、相手の気持ちになって考え、協力していくこと

U・I ターン — 「U ターン」は、地方から都市に移住した人が、再び故郷に帰ること。「I ターン」は、都市部から出身地とは違う地方に移住して働くこと

インターンシップ — 学生が、企業などで一定期間、就業体験をすること

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 4 豊かなひとを育むまち

学校教育

- ① 学校教育
- ② 学校づくり
- ③ 高等学校、高等教育

社会教育

- ① 生涯学習
- ② 社会教育

文化

- ① 芸術文化
- ② 文化財保護

スポーツ

- ① スポーツ

交流

- ① 国際交流、地域間交流



学校教育

① 学校教育

現状と課題

社会がどのように変化しようとも、子どもたちが自らの夢や希望に向かって生きていくためには、子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きていくための健康や体力などの「生きる力」をバランスよく育てていくことが重要です。

そのためには、子どもたちの発達段階に応じた、幼児期から円滑につながる学校教育の展開と、教育内容の充実が求められています。

基本方針

子どもたち一人ひとりの夢を大切にしながら、明日を拓く「生きる力」を育みます。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①幼児期に身につけるべき基礎を育む	■ 幼児教育の総合的な推進
②生きていく力を育む	■ 基礎的、基本的な学力の定着促進 ■ きめ細かな学習指導の充実 ■ 特別支援教育の充実 ■ 国際理解、外国語教育の充実 ■ キャリア教育、主権者教育の充実 ■ 情報教育の充実 ■ コミュニケーション能力の育成
③豊かな心や地域を愛する心を育む	■ 道徳教育の充実 ■ 読書活動の推進 ■ ふるさと教育の推進、伝統や文化に関する教育の充実 ■ 地域活動の理解促進、環境教育の充実
④健康で元気に生活できる体を育む	■ 健康管理、保健教育の推進 ■ 体力向上の推進 ■ 学校給食の充実 ■ 地域に根ざした食育の推進 ■ 望ましい生活習慣を確立する教育の充実 ■ 防災・安全教育の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

キャリア教育 -- 社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲を形成、向上させるための教育

学校教育

② 学校づくり

現状と課題

学校教育のさらなる充実を図るためには、家庭や地域等との連携・協力や、さまざまな学校間における連携・交流を進めていくことが重要となっています。

地域全体で子どもたちを守り育てる教育環境づくりを推進するとともに、子どもたちの学びの機会を充実しながら、子どもたちが楽しく学び、活気があふれる「地域と共にある、より魅力と信頼のある学校」を目指すことが求められています。

また、社会環境や生活様式の変化など、子どもたちを取り巻く環境の変化により生じる不登校やいじめなどの課題に対しては、全ての子どもたちが元気に楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを大切にする相談体制や指導の充実が求められています。

基本方針

地域全体で子どもたちを守り育てる学校づくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①支援が必要な子どもに対する教育体制の整備	▪ 特別支援教育体制の充実 ▪ 問題や悩みを抱える子どもに対する相談体制の充実 ▪ いじめ、不登校対策の充実 ▪ 適応指導体制の充実
②地域と共に築く学校づくりのための支援体制の整備	▪ 教職員の資質向上 ▪ 地域と共にある学校づくりの推進 ▪ 学校、家庭、地域が一体となった取り組みの推進 ▪ コミュニティ・スクールの推進
③子どもの学びを支える特色ある教育環境の整備	▪ 特色ある学校づくりの推進 ▪ 安全・安心な教育環境の整備、充実 ▪ 教材、教具の整備、充実 ▪ ICT 教育環境の整備促進 ▪ スクールバス運行の充実 ▪ 東京農業大学、日本体育大学と連携した教育活動の推進 ▪ 就学支援制度の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

学校教育

③ 高等学校・高等教育

現状と課題

少子高齢化・人口減少の進展により、高等学校・高等教育機関における生徒数・学生数の減少が懸念されます。

高等学校では、それぞれ特色ある教育が進められている中で、高校生による、地域に根ざした、地域に開かれた活動も活発化しています。

高校生による、まちづくりに参加する主体的な活動の推進や支援を通じた魅力ある学校づくりが求められています。

高等教育機関では、人材育成・交流、学術研究、産業や文化の振興など、果たす役割は多様化し、ますます重要なものとなっています。

地域とのさまざまな連携・協力体制の拡充、共同研究や委託研究などをより一層進め、学びを活かす地域の確立が重要となっています。

基本方針

高校生や大学生のまちづくりに参加する主体的な活動の推進と地域とのさまざまな連携を深め、「学びを活かす」まちづくりを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①高等学校の充実	- 多様な教育機会の充実と連携強化 - 定時制高校の支援 - 高等支援学校の振興
②大学など高等教育の充実	- 高等教育機関の振興と連携強化 - 地域に開かれた大学の振興 - 大学との連携事業の推進
③就学の支援	奨学金貸付制度の充実

関連する個別計画

- 網走市学校教育計画

社会教育

① 生涯学習

現状と課題

急速な ICT の進展、グローバル化などは、ライフスタイルや価値観の変化につながり、生涯学習に対するニーズも多様化、高度化しています。

さまざまなニーズへ対応した学習機会を提供するためには、そのニーズを的確に把握するとともに、行政のみならず多様な担い手による学習機会の提供に取り組むことが重要です。

また、一人でも多くの方が、自ら学び、人生を楽しく豊かにするためには、さまざまな学習機会や、きっかけづくりの提供が大切であり、その学びを社会に還元できる環境の整備が求められています。

基本方針

自ら学び、豊かな人を育む、教育と文化のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①生涯学習を支える場の提供と学習環境の整備	- 生涯学習を推進する組織運営の充実 - 学習意欲を高める機会の充実 - 多様な学習内容と学習方法の提供 - 団体・サークル活動支援の推進
②連携による学習機会の充実	- 大学や教育機関と連携した多様な学習機会の提供 - 市民参画による学習機会の充実
③学習情報の収集、提供、相談事業の充実	- 学習に対するニーズの把握・情報収集 - 多様な媒体による学習情報の提供 - 学習相談体制の充実
④図書館機能の充実	- 魅力ある図書資料の選定と情報発信 - 課題解決を支援する図書館サービスの充実 - 分庫の整備、充実 - 図書館の利用促進活動の強化 - ボランティアの育成、活動支援と連携 - 読書活動の支援、推進
⑤博物館機能の充実	- 常設展、企画展の充実 - 郷土の歴史、自然資料などの調査、収集 - 郷土の歴史と自然に関する教育普及活動の推進

関連する個別計画

● 網走市社会教育長期計画

● あばしり子ども読書プラン

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

社会教育

② 社会教育

現状と課題

単身世帯や高齢者世帯が増加する中、地域社会とのつながりが希薄化し、地域に対する関心が低下しています。こうした中、地域住民の学びあい、教えあいを通じて、人と人との絆を深めるとともに、多様な学習活動を通じて、一人ひとりが当事者意識を持って行動するために必要な知識や技術を習得し、学習活動の成果を地域づくりにつなげることが重要となっています。

また、さまざまなニーズに即した学習機会の提供を図るために、多様な主体による、幅広い学習活動の場や機会の創出が求められています。

基本方針

自主的な学習活動を地域づくりにつなげ、人と人との交流を生むまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①社会教育を進める体制や環境の整備	▪ 多種多様な学習機会の提供 ▪ 家庭教育支援の充実 ▪ 社会の変化や多様なニーズに応じた学習環境の整備 ▪ 関係機関等との連携による教育体制の整備 ▪ 社会教育を推進する組織運営の充実
②子どものための学習や体験の場の提供	▪ 豊かな心を育む学習機会の提供 ▪ 子どもの心身の健康づくりの推進 ▪ 子どもの自由時間の充実のための環境づくり
③学習活動を行う団体や指導者の育成	▪ 社会教育関係団体の育成と支援 ▪ 学習活動を行う指導者の育成 ▪ 青年層をはじめ市民団体の育成
④学習成果を還元する機会の充実	▪ 学習成果を活かし活動できる機会の充実
⑤公民館機能の充実	▪ オホーツク・文化交流センターの機能充実 ▪ 市民会館の適正な維持管理 ▪ コミュニティセンター機能との連携 ▪ まちづくりのための学習機会の提供 ▪ ニーズに応じた学習機会の提供
⑥社会体育活動の充実	▪ ライフステージに応じた社会体育活動の推進 ▪ 総合型地域スポーツクラブの育成、推進 ▪ 指導者の育成、確保 ▪ 体力増進活動の推進

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

ライフステージ — 年齢とともに変化する生活段階

文 化

① 芸術文化

現状と課題

芸術文化は、ひとの暮らしに喜びや感動を与え、心に豊かさをもたらします。鑑賞機会や学習機会の提供のほか、自主的な芸術文化活動を支援することで、地域に対する愛着や誇りを育むことが重要です。

また、より多くの方が芸術文化に触れる機会を創出することや、芸術文化に関わる人、団体との地域交流を深め、まちの新たな魅力につなげることが求められています。

基本方針

芸術文化を通じて豊かな人間性を育むとともに、文化を大切にすまちなちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①地域文化の継承	- 郷土芸能の保存支援 - 郷土の歴史・文化遺産の継承と新しい創造活動支援
②芸術文化活動の促進	- 発表活動の支援と発表機会の提供 - 芸術文化事業の充実 - 芸術文化団体の育成
③鑑賞機会の拡大	- 舞台芸術鑑賞機会の充実 - 学校と連携した芸術鑑賞機会の充実 - 創作活動を鑑賞する機会の充実
④美術館機能の充実	- 常設展、企画展、特別企画展の充実 - 収蔵作品の管理 - 美術体験講座の開催
⑤芸術文化合宿の誘致	芸術文化合宿の誘致促進

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

目標 1

一人ひとりを大切にす
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

文化

② 文化財保護

現状と課題

網走市には、国重要文化財2件（旧網走監獄、旧二見ヶ岡農場）、国指定文化財3件（史跡桂ヶ岡砦跡、史跡最寄貝塚、名勝天都山）、国登録有形文化財6件（博物館網走監獄哨舎5件、独居房1件）、市指定文化財4件（永専寺山門、網走神社絵馬、鱒浦稻荷神社絵馬、ポンモイ柱状節理）の貴重な文化財があります。

地域に残る独特な文化財は、適切に保護し、まちの誇りとして、次代に引き継ぐことが重要です。

また、市民にその価値と魅力を周知し、歴史や自然を学ぶ機会を提供するとともに国内外にも広く発信し、観光資源としての活用も図りながら、歴史文化を活かしたまちづくりが求められています。

基本方針

網走の文化財の理解を深め、後世に継承するとともに、歴史文化を活かしたまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①文化財の調査および保護	■ 埋蔵文化財の調査、保護 ■ 文化財の調査、保護 ■ 文化財に関する研究
②文化財に対する理解の促進	■ 文化財保護のための学習機会の充実

関連する個別計画

- 網走市社会教育長期計画

スポーツ

① スポーツ

現状と課題

スポーツの果たす役割は多岐にわたります。青少年の健全な育成、健康の維持、地域の人々の主体的な協働の取り組み、地域の活力などさまざまであり、年齢や性別、障がいの有無を問わずスポーツに取り組むことのできる体制や環境づくりが重要となっています。

人口減少・少子高齢化社会を見据え、既存のスポーツ団体はもとより、企業、高校、大学など関係団体と多様な連携を図りながら、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の提供が求められています。

また、本市の強みであるスポーツ合宿や障がい者スポーツ合宿、大会誘致をより一層進めることで、地域の活性化を図ることが重要となっています。

基本方針

誰もがスポーツに親しみ、心身ともに豊かなひとを育むとともに、スポーツによる交流人口の拡大を図るまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①スポーツ施設の整備、利用促進	▪ スポーツ施設の充実、適正な維持管理 ▪ 学校開放事業の促進
②スポーツ活動の促進	▪ スポーツに関する情報提供の充実 ▪ 各種行事、スポーツイベントの開催 ▪ 競技力向上の支援 ▪ スポーツ団体等との連携、支援
③障がい者スポーツの振興	▪ 障がい者スポーツの普及、啓発、促進 ▪ 障がい者スポーツ指導者の育成 ▪ 障がい者団体との連携
④活動組織や指導者の育成	▪ スポーツ団体等の育成 ▪ 指導体制の充実
⑤スポーツ合宿や大会誘致	▪ スポーツ合宿の誘致促進 ▪ スポーツ大会の誘致促進

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

交流

① 国際交流、地域間交流

現状と課題

国際交流では、姉妹都市としてカナダ・ポートアルバーニ市、友好パートナーシップとして韓国蔚山広域市南区との交流が行われ、国内交流では、友好都市として沖縄県糸満市と神奈川県厚木市、観光物産交流都市として山形県天童市との交流が行われています。

異文化との交流により、ふるさとの文化や歴史の魅力を再認識するとともに、国際的な感覚を持った豊かな人の育成が期待されています。

国際交流、国内交流を通じて、次世代の人材育成とともに地域の活性化を図り、個人、団体など、さまざまな形での交流を深めていくことが求められます。

さらに、交流人口の拡大による地域の活性化が求められており、大会、会議など、さまざまな形で交流機会を創出することが重要となっています。

基本方針

さまざまな国や地域の文化を理解、尊重し、ふるさとの魅力を再認識しながら、ひとが集う交流するまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①海外・国内都市との交流促進	- 海外の姉妹都市、友好都市等との交流推進 - 国内の友好都市等との交流推進 - スポーツ交流や研修派遣など市民レベルでの交流機会の推進 - 民間事業者主体による経済交流の推進 - 経済活動等を通じた国際交流の推進 - 東京網走会などふるさと会との連携による交流の促進
②シティプロモーションの推進	- 移住、定住の促進 - 地域の課題に応じたシティプロモーションの推進
③国際化に対応した教育や人材の育成	- 英会話指導の充実 - 国際理解のための学習機会の充実 - 外国の文化を理解、体験できる機会の充実 - 民間組織・人材の育成、充実
④国際化に対応した環境の充実	- ユニバーサルデザインの推進 - 外国人観光客に対応した環境整備
⑤大会・会議の誘致	各種大会、会議、学会等の誘致による交流機会の拡充

ユニバーサルデザイン ― 年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

目標 5 とともに歩み、築く協働のまち

地域協働

- ① 男女共同参画・人権
- ② 市民活動
- ③ 情報

行政運営

- ① 行政運営
- ② 広域連携



地域協働

① 男女共同参画・人権

現状と課題

性別にとらわれることなく、人権を尊重し、喜びや責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる豊かな社会の実現が求められています。

市民一人ひとりが、どのような環境にあっても自らの生き方を主体的に選択できるよう、行政はもとより、個人、団体、企業など、それぞれが意識改革を進めながら、環境整備に取り組むことが重要となっています。

基本方針

一人ひとりの人権を尊重し、誰もが個性と能力を発揮できる豊かなまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①男女共同参画の推進	- 男女共同参画意識の啓発 - 男女参画に関する学習機会の充実 - 政策、方針決定過程への女性の登用促進
②家庭、職場、地域社会活動等の両立支援	- 家庭、職場、地域社会での男女共同参画の推進 - ワークライフバランスの推進 - 子育てや介護と仕事が両立できる支援体制の充実 - 女性の活躍推進に向けた啓発
③あらゆる人権侵害の防止	- 相談、支援体制の充実 - 暴力や人権侵害の防止に向けた啓発の促進

関連する個別計画

- 網走市男女共同参画プラン

ワークライフバランス --- 個人のライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方の実現を目指す考え方

地域協働

② 市民活動

現状と課題

ひとの価値観やライフスタイルの変化により、地域でのつながりが希薄化し、支え合いなどの地域力が低下する中、人口減少・少子高齢化の急速な進展と相まって、市民ニーズや地域が抱える課題は複雑化、多様化しています。

市民、団体、企業、行政など、多様な担い手がそれぞれの特性を活かしながら、連携して地域課題の解決に取り組む、地域協働の推進が必要となっていますが、町内会など地域活動団体では、会員の高齢化や担い手不足、人材の育成が課題となっています。

基本方針

市民、団体など多様な担い手が連携を図り、一人ひとりが活躍し、地域課題に取り組むまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①市民意識の醸成	市民活動、協働に関する情報提供の充実
②市民活動の支援	- 町内会への加入促進 - 市民活動を行う団体等の担い手育成の支援
③地域協働の推進	- 地域課題の取り組みに向けた支援 - 地域協働の推進

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

地域協働

③ 情報

現状と課題

市民と行政の情報共有に努め、開かれた行政を推進するとともに、市民の行政への関心を高める取り組みが重要となっています。

情報の提供にあたっては、市民に伝えるべき情報や市民が必要とする情報の視点に留意しつつ、その手段や時期、内容の充実などを常に改善しながら、わかりやすい情報を的確に提供することが求められています。

情報社会の進展により利便性が向上する一方で、個人情報流出等の問題が懸念されているため、大切な情報を守ることも重要となっています。

行政における計画などの策定にあたっては、関係機関や団体、各分野における有識者のほか、公募による参画を進めるとともに、幅広い市民意見を反映するためのアンケート調査やパブリックコメントの充実が求められています。

さらに、市民と行政の意見交換の場を充実しながら、市民の積極的な市政参加を促進することが必要となっています。

基本方針

開かれた市政と市民の積極的な参画を促進し、ともに築く協働のまちを目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①広報の充実	▪ 広報紙、ウェブなどの内容の充実 ▪ 多様な媒体での情報提供の推進 ▪ 迅速な情報提供の推進 ▪ 情報公開の推進
②市民の参加による広聴 機会の充実	▪ 市長への手紙、みんなの市長室、宅配トーク、住民会議の開催など多様な手法による広聴の充実 ▪ 市民の声を幅広く聴取する機会の充実 ▪ 市民意見公募制度の推進
③情報公開の推進	▪ 情報公開制度の適正かつ円滑な運用
④情報セキュリティの充実	▪ 情報管理の徹底 ▪ 情報の適正な運用 ▪ セキュリティ対策の強化

関連する個別計画

- 網走市行政改革推進計画

行政運営

① 行政運営

現状と課題

人口減少・少子高齢化やグローバル化の進展など、社会経済情勢の大きな変化はライフスタイルの多様化を生み、行政需要はますます多様化・高度化することが予測されます。

一方で、市政運営の根幹である財政は、歳入環境では一般財源総額（自由に使えるお金）が減少傾向にある中、歳出環境では社会保障関係費や公共施設等の維持管理、更新費用の増大が見込まれています。

裁量的な経費が減少し財政運営の硬直化が進む大変厳しい状況下において、より質の高い行政サービスを提供するためには、行政改革の取り組みが欠かせません。

人材の育成に努め、行政組織の体制、行政運営および事務事業の見直しなど、常に改善に取り組みながら、地域の現状を的確に把握し、客観的な課題の分析、検証などにより、施策の取捨選択を進め、新たな課題へ迅速かつ柔軟に取り組むことが求められています。

基本方針

持続可能な財政運営と質の高い行政サービスの提供を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①財政健全化の推進	- 効率的かつ効果的な財政運営の推進 - ふるさと納税制度など多様な歳入手段の検討、推進
②業務の効率化、サービスの充実	- 社会情勢に応じた組織機構の見直し - 民間活力やノウハウを活用したサービスの推進 - 企業や団体等との公民連携の推進 - 職員の資質向上
③公有財産の適正管理	- 公共施設等の適正管理、配置、除却 - 安全安心な公共施設等の提供 - 遊休地の売却、貸付など有効活用
④効果検証の実施	- 客観的な課題分析、成果検証の推進 - 統計情報の収集・分析

関連する個別計画

- 網走市公共施設等総合管理計画
- 網走市行政改革推進計画

目標 1

一人ひとりを大切に
やさしいまち

目標 2

豊かな自然と共生する
安心なまち

目標 3

ひとが集いにぎわいと
活力を生むまち

目標 4

豊かなひとを育むまち

目標 5

ともに歩み、
築く協働のまち

行政運営

② 広域連携

現状と課題

広域行政の取り組みとしては、オホーツク圏活性化期成会、網走地区消防組合、網走地方教育研修センターなどを周辺自治体と組織し、共同で事務事業にあたることで、効率的な行政運営を目指しています。

また、住民の生活環境が密接に関係している大空町とは、一つの圏域として、定住に必要な生活機能である医療、福祉、教育、公共交通などの確保を目指す、定住自立圏構想を推進しています。

人口減少・少子高齢化やグローバル化の進展による社会経済情勢の大きな変化は、JR北海道問題のような、一基礎自治体では解決困難な課題を次々に顕在化させます。

こうした課題に対しては、現状の広域連携の取り組みを強めるとともに、さまざまな形での広域連携を図りながら課題解決に取り組むことが求められています。

基本方針

多様な連携による課題解決に取り組みながら効率的で効果的な行政運営を目指します。

施策の展開

施策の区分	施策の内容
①さまざまな広域連携の推進	▪ 近隣自治体との連携による効率的な事業の推進 ▪ 地域課題を共有した広域での連携した取り組みの推進 ▪ 定住自立圏域での多様な取り組みの推進 ▪ 大学、企業、団体など多様な連携の推進

関連する個別計画

- 網走市大空町定住自立圏共生ビジョン

網走市総合計画

資料編



諮 問 書

網走市総合計画審議会
会長 黒 瀧 秀 久 様

平成30年度からの本市の総合的、計画的な行政運営を図るための新しい総合計画の策定について諮問いたします。

平成29年9月7日

網走市長 水 谷 洋 一

平成30年4月23日

網走市長 水 谷 洋 一 様

網走市総合計画審議会
会長 黒 瀧 秀 久

新しい総合計画の策定について(答申)

平成 29 年 9 月 7 日付けで当審議会に諮問がありました網走市の新しい総合計画について、慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申いたします。

本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、様々な課題が顕在化されることが懸念される中、時代の変化に対応できるまちづくりが求められます。

将来像である「豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走」の実現に向け、まちの持つポテンシャルを最大限に活かし、誰もが健康で安心して暮らすことのできるまちを目指し、次の世代にも素晴らしい網走を引き継いでいくことに最大限の努力を払われることを望みます。

網走市総合計画審議会委員名簿

(五十音順・敬称略)

区分	氏名	所属団体等
会 長	黒瀧 秀久	東京農業大学生物産業学部学部長
副会長	北村 譲二	網走商工会議所会頭
委 員	阿保 誠司	連合北海道網走地区連合会会長
委 員	荒木 哲夫	網走市文化連盟会長(～平成30年3月)
委 員	石原 久美	市民公募
委 員	潮田 信	網走市立小中学校校長会会長(～平成30年3月)
委 員	大高 隆吉	西網走漁業協同組合代表理事組合長(～平成30年3月)
委 員	岡本 一男	オホーツク網走農業協同組合代表理事組合長
委 員	鬼塚 勝安	民生委員・児童委員連盟網走市支部支部長
委 員	片桐 聡	網走市立小中学校校長会会長(平成30年4月～)
委 員	川田 弥生	市民公募
委 員	銀田 聡	市民公募
委 員	黒田 幸市	網走市町内会連合会会長
委 員	島崎 洋二	日本体育大学附属高等支援学校校長
委 員	神内 義光	網走市社会福祉協議会会長
委 員	新谷 静代	オホーツクキャリアデザインネットワーク副会長
委 員	新谷 哲也	網走漁業協同組合代表理事組合長(平成30年4月～)
委 員	清野 一幸	西網走漁業協同組合代表理事組合長(平成30年4月～)
委 員	田中 雄一	網走中央商店街振興組合理事長
委 員	田上 壽春	網走市観光協会会長
委 員	中山 衡司	網走医師会会長
委 員	伴 道弘	網走信用金庫理事長
委 員	本間 公三	網走消費者協会会長
委 員	道山 マミ	市民公募
委 員	前田 敏彦	網走市体育協会会長
委 員	松井 丈	網走地区消防組合網走消防団団長
委 員	丸田 孝一	網走建設クラブ会長
委 員	山田 邦雄	網走漁業協同組合代表理事組合長(～平成30年3月)

網走市総合計画協働会議委員名簿

(五十音順・敬称略)

分野	氏名
農水産業	安達 耕平
学 生	池田 多岐
職員公募	石川 愛子
まちづくり	石川 玲司
観 光 業	梅林 弘道
商 業	北野 貴丸
教 育	工藤 拓也
農水産業	工藤 英明
教 育	酒井 俊幸
福 祉	佐川 真章
地域防災	貞尾 建光
環境(保全)	澤口 和人
農水産業	品田 智洋
商 業	竹内 康二
職員公募	種村 侑
学 生	為貝 莉穂
市民公募	千田 宗平
健 康	土田 友来
観 光 業	戸松 能希
環境(居住)	七崎 誠
教 育	林 嘉
職員公募	播摩 知典
地域活動	日根 里佳子
まちづくり	藤崎 康之
職員公募	藤田 泰佳
市民公募	宝沢 祐基
職員公募	松島 桂吾
福 祉	松野 修大
学 生	三木 彩寧
医 療	宮下 由圭
子 育 て	宮野 愛
市民公募	本川 絵里子
まちづくり	山口 俊哉
まちづくり	山崎 公也
農水産業	山本 正樹
市民公募	吉田 崇
市民公募	渡部 博幸

中高生ワークショップ名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	学校名
石田 桃太郎	北海道網走桂陽高等学校
伊藤 萌絵	網走市立第一中学校
上田 ひな	北海道網走桂陽高等学校
浦山 菜奈	北海道網走桂陽高等学校
大関 樹	網走市立第五中学校
大月 颯斗	北海道網走桂陽高等学校
小沼 明日香	網走市立第二中学校
小山田 裕也	北海道網走桂陽高等学校
柿崎 桃花	網走市立第四中学校
金子 美南	北海道網走桂陽高等学校
川原 愛理	北海道網走桂陽高等学校
菊地 琉生	網走市立第四中学校
日下部 文彦	網走市立第二中学校
國井 彩乃	北海道網走桂陽高等学校
熊坂 ひなた	網走市立呼人中学校
近藤 愛美	北海道網走桂陽高等学校
齋藤 松一	網走市立第二中学校
佐藤 葵	北海道網走桂陽高等学校
佐藤 朱莉	網走市立第三中学校
篠原 蓮旺	網走市立第三中学校
高橋 絵萌	網走市立呼人中学校
中村 美月	網走市立第五中学校
服部 彩華	網走市立第一中学校
濱野 優	網走市立第一中学校
早川 五貴	網走市立第二中学校
原田 波音	北海道網走桂陽高等学校
蒔田 和奏	網走市立第二中学校
丸山 春香	北海道網走桂陽高等学校
三上 奏	北海道網走南ヶ丘高等学校
三上 水紀	北海道網走桂陽高等学校
結城 遥	北海道網走桂陽高等学校
吉岡 里菜	網走市立第二中学校

網走市総合計画策定経過

平成28年	9月15日～10月5日：まちづくりアンケート調査 市民2,000人を対象に、これまでに取り組んできた施策に対する満足度、今後取り組む上での重要度、その他基本的意識等についてのアンケート調査を実施
平成29年	6月21日：第1回協働会議 ・総合計画策定の進め方について ・ワークショップ「網走市の魅力や資源、これからのまちづくりの課題」 「将来の網走市のイメージ」 7月19日：第2回協働会議 ・ワークショップ「今後のまちの活性化の視点で大切にしていくこと、強めていくこと」 「市民協働・連携の視点で、今後重要なこと、必要なこと」 8月23日：第3回協働会議 ・ワークショップ「網走市の取り組みで強化すべきこと」 「新たに取り組むべきこと」 9月7日：第1回審議会 ・諮問、総合計画策定について説明 10月18日：第4回協働会議 ・ワークショップ「分野別の取り組みについて」 10月28日：第1回中高生ワークショップ 「網走市の魅力、課題」「将来の網走市のイメージ」 11月3日：第2回中高生ワークショップ 「網走の将来イメージを実現するために」 11月7日：第5回協働会議 ・ワークショップ「分野別の取り組みについて」 中高生ワークショップ 協働会議
平成30年	1月18日：第6回協働会議 ・協働会議のまとめ（基本構想素案） ・将来像及び将来像を実現するための5つの目標について 3月8日：第2回審議会 ・基本構想素案の検討 4月4日：第3回審議会 ・基本構想案とりまとめ ・基本計画素案の検討 4月20日：第4回審議会 ・総合計画案とりまとめ ・答申案について 4月23日：答申 4月25日～5月24日：パブリックコメント 答申のあった総合計画案に対する市民意見を募るため、パブリックコメントを実施 審議会

網走市総計画策定条例

(趣旨)

第1条 この条例は、まちづくりの基本的な指針である網走市総合計画（以下「総合計画」という。）の策定等について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想及び基本計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 本市の将来像とその具体化のための基本方向を明確に示すものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想の理念に基づき、基本施策の方向と体系を示すものをいう。

(総合計画の策定)

第3条 市は、本市における総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、総合計画を策定するものとする。

(総合計画審議会への諮問)

第4条 市長は、基本構想及び基本計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、網走市附属機関条例（平成12年条例第24号）第1条の規定により設置された網走市総合計画審議会に諮問しなければならない。

(議会の議決)

第5条 市長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経なければならない。

(基本計画の策定)

第6条 市長は、基本構想に基づき、基本計画を策定するものとする。

(総合計画との整合性の確保)

第7条 市長は、個別の行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合を図るものとする。

(総合計画の公表)

第8条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

網走市まちづくり市民アンケート調査結果 概要

調査の概要

調査対象：市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人（無作為抽出）

調査方法：郵送調査法（回答者は無記名）

調査期間：平成 28 年 9 月 15 日～10 月 5 日

回収：695 件（回収率 34.8%）

1 まちづくり項目における満足度と重要度（加重平均値※）

問

網走市での生活に関する各項目について、現在の満足度と、今後まちづくりで取り組む重要度についておたずねします。

算出方法 ※満足度および重要度は、下記の式によって設問ごとに算出した数値（無回答を除く）

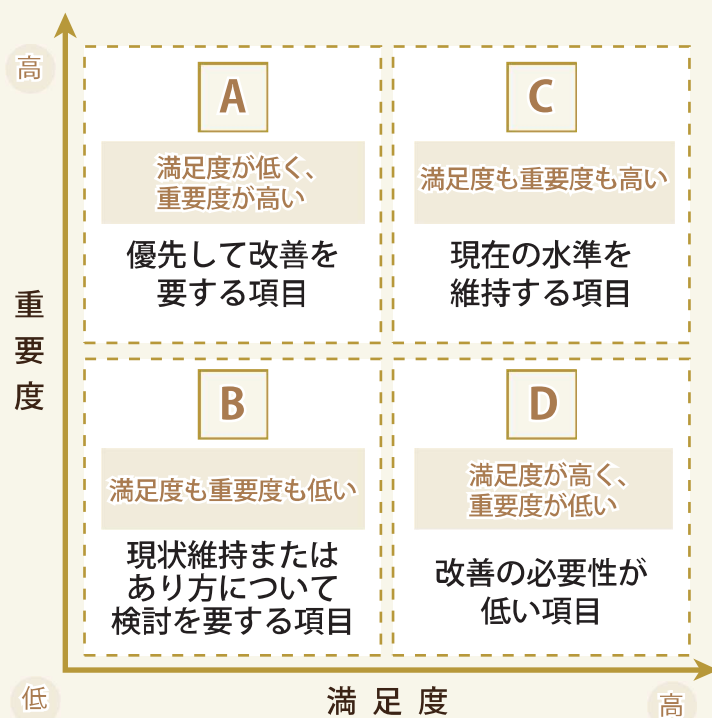
$$\text{満足度} = \frac{\text{満足} \times 5 + \text{やや満足} \times 4 + \text{どちらともいえない} \times 3 + \text{やや不満} \times 2 + \text{不満} \times 1}{\text{回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{重要} \times 5 + \text{やや重要} \times 4 + \text{どちらともいえない} \times 3 + \text{あまり重要でない} \times 2 + \text{重要でない} \times 1}{\text{回答数}}$$

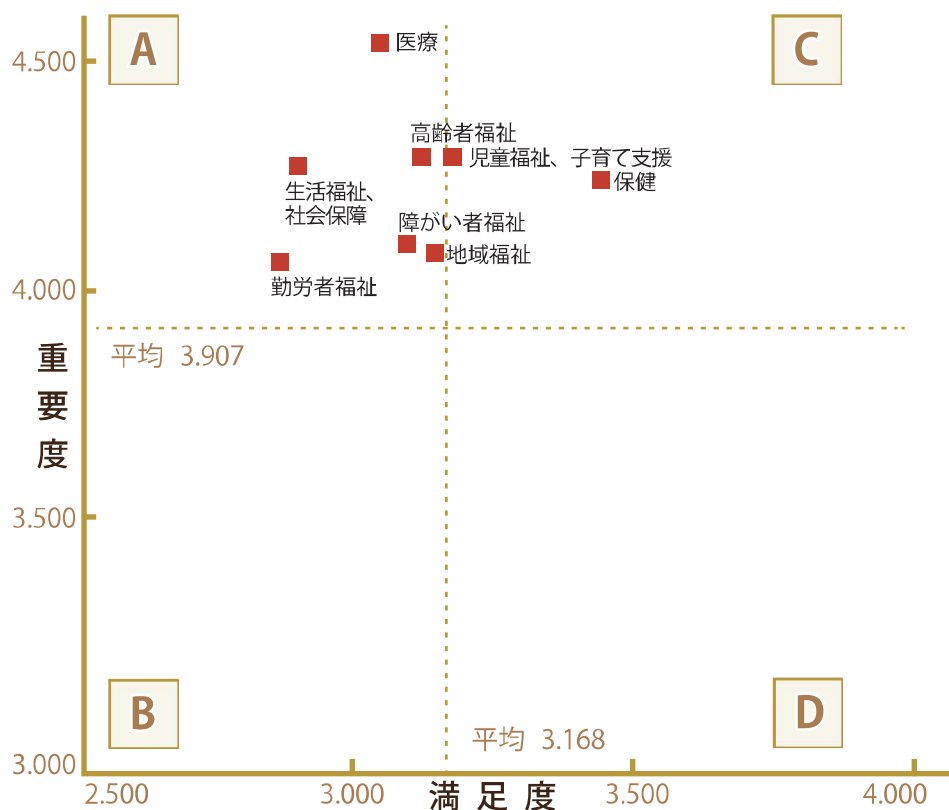
分類	項目	満足度	重要度	分類	項目	満足度	重要度
安心して暮らせるまち 支え合い、	保険	3.445	4.258	活にぎわいと 力にふれるまち	農業	3.262	3.907
	医療	3.053	4.552		林業	3.148	3.726
	地域福祉	3.148	4.080		漁業	3.269	3.944
	高齢者福祉	3.121	4.302		水産物販売、水産加工	3.135	3.911
	障がい者福祉	3.095	4.096		観光	3.020	4.096
	児童福祉、子育て支援	3.174	4.292		商業	2.785	3.950
	生活福祉、社会保障	2.896	4.262		工業	2.904	3.724
	勤労者福祉	2.871	4.062		新産業創出	2.779	3.849
快適で調和のとれたまち	土地利用、市街地整備	2.806	3.922	みずから学び、 ふれあいを大切にするまち	雇用労働対策	2.758	4.063
	道路	3.040	4.046		幼稚園教育	3.322	4.057
	港湾、漁港	3.228	3.604		義務教育	3.299	4.168
	公共交通	2.979	4.015		高等学校・高等教育	3.212	4.067
	情報通信	3.153	3.771		生涯学習	3.237	3.703
	国土保全、防災	3.081	4.134		社会教育	3.178	3.742
	消防、救急	3.557	4.208		家庭教育	3.044	3.799
	防犯、交通安全、消費生活	3.257	4.014		芸術文化	3.206	3.523
	地球環境の保全	3.105	3.750	みんなで知恵を出し、 いっしょにつくるまち	文化財	3.314	3.557
	自然環境保護	3.191	3.764		スポーツ	3.635	3.797
	公害防止	3.200	3.851		国際交流、国際化対応	3.290	3.458
	廃棄物処理、再資源化	3.202	4.312		地域間交流	3.272	3.450
	住宅・宅地	3.169	3.635		男女共同参画	3.078	3.538
	上水道	3.663	4.118		コミュニティ、市民活動	3.228	3.663
	生活排水処理	3.608	4.049		広報・広聴、市民参加	3.204	3.646
	公園・緑地、緑化	3.299	3.675		行政	3.029	3.998
	景観形成、環境美化	3.278	3.640		財政	2.863	4.131
	火葬場・墓地	3.588	3.554		広域連携	3.021	3.647

満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、各項目の評価点でその位置を表した場合、項目全体の平均値を境界として下図のA、B、C、Dの4つに分類できます。

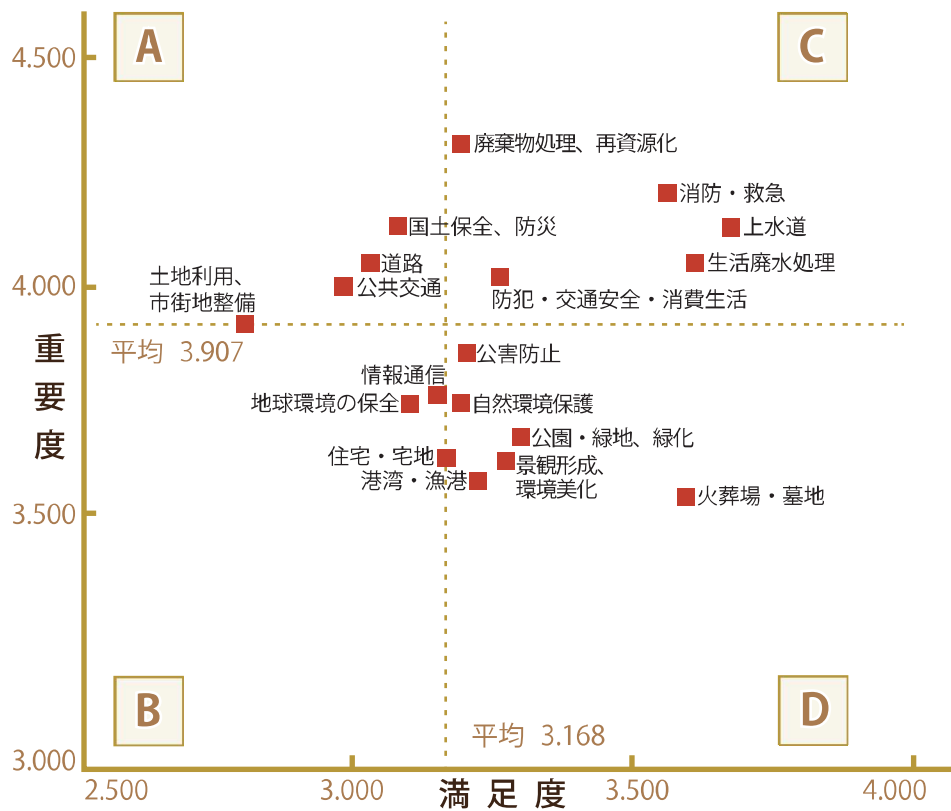
なお、A～Dの分類は、項目全体の満足度および重要度の平均線で分類した相対的なものなので、項目を明確に分類するものではありません。



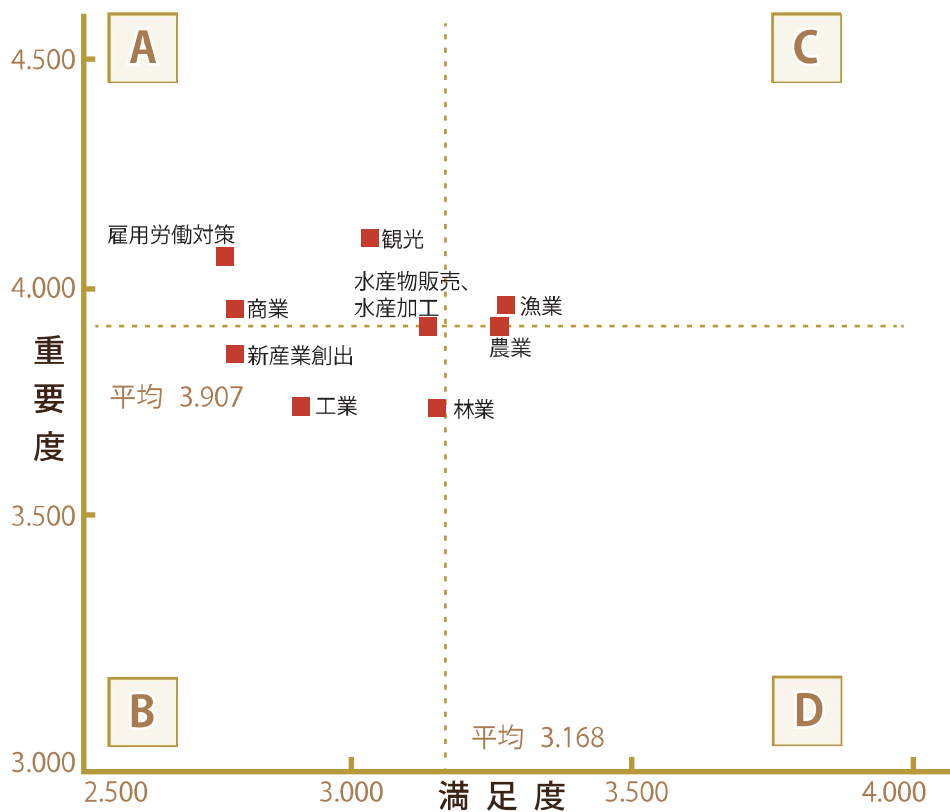
散布図1 支え合い、安心して暮らせるまち

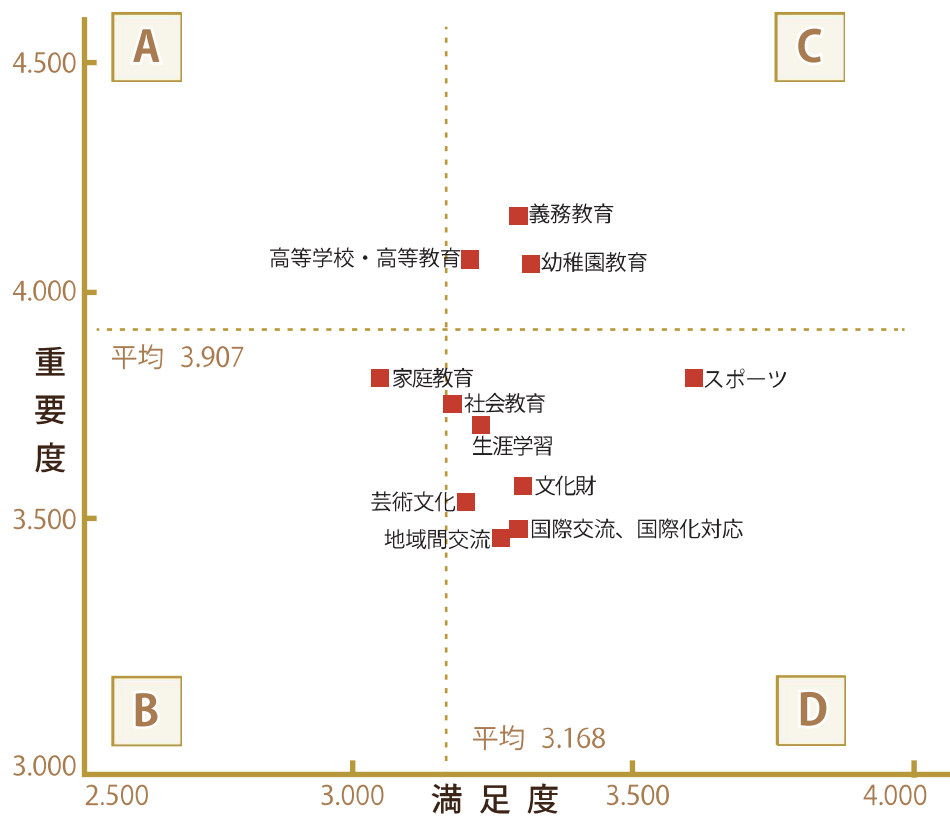
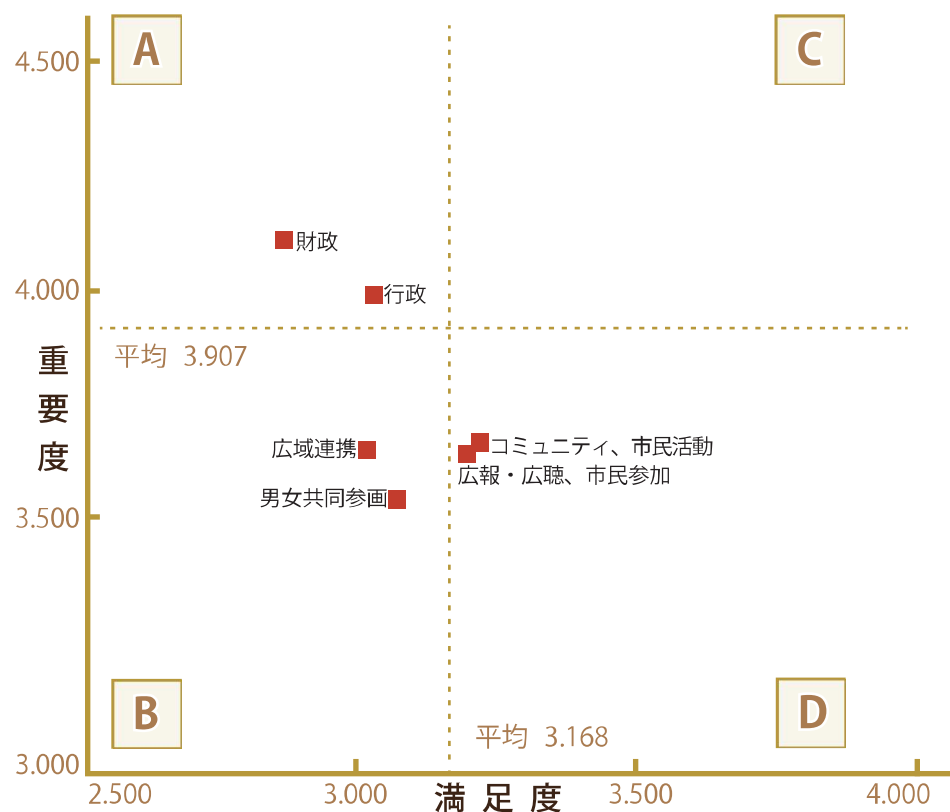


散布図2 快適で調和のとれたまち



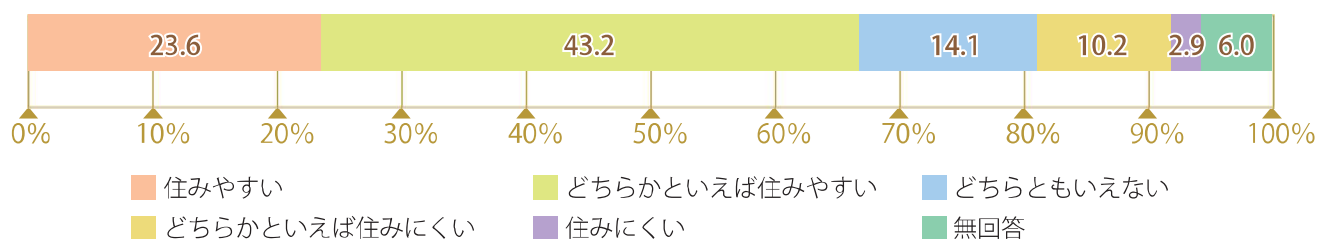
散布図3 にぎわいと活力にあふれるまち



散布図4 みずから学び、ふれあいをたいせつにするまち

散布図5 みんなで知恵を出し、いっしょにつくるまち


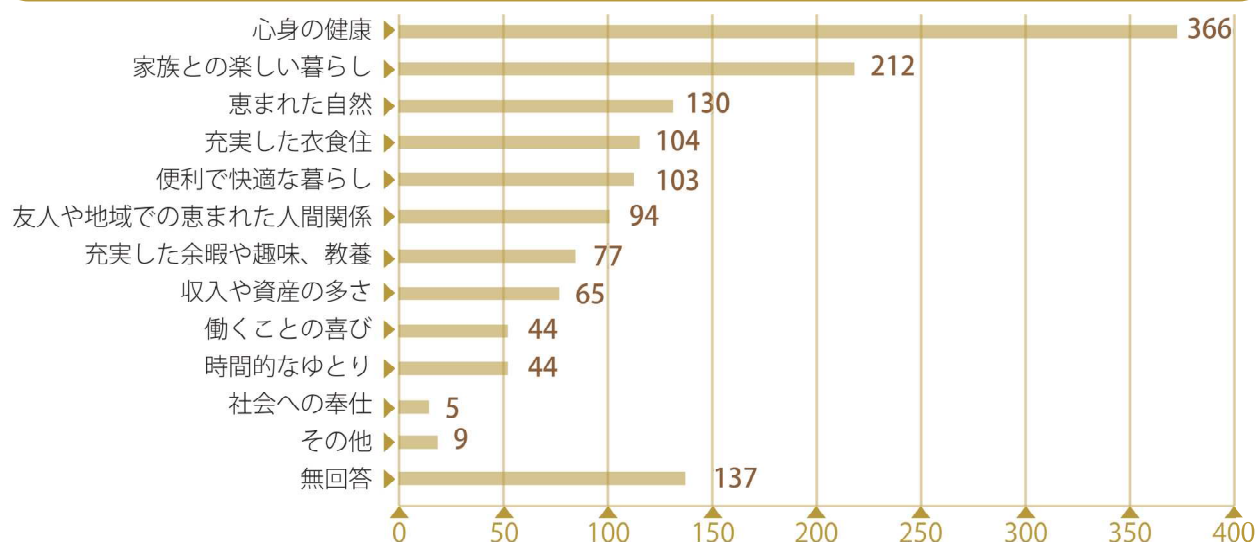
2 網走市の住みやすさ

問 あなたは、総合的に見て、現在の網走市での住みやすさをどのように感じですか。（1つだけ選択）



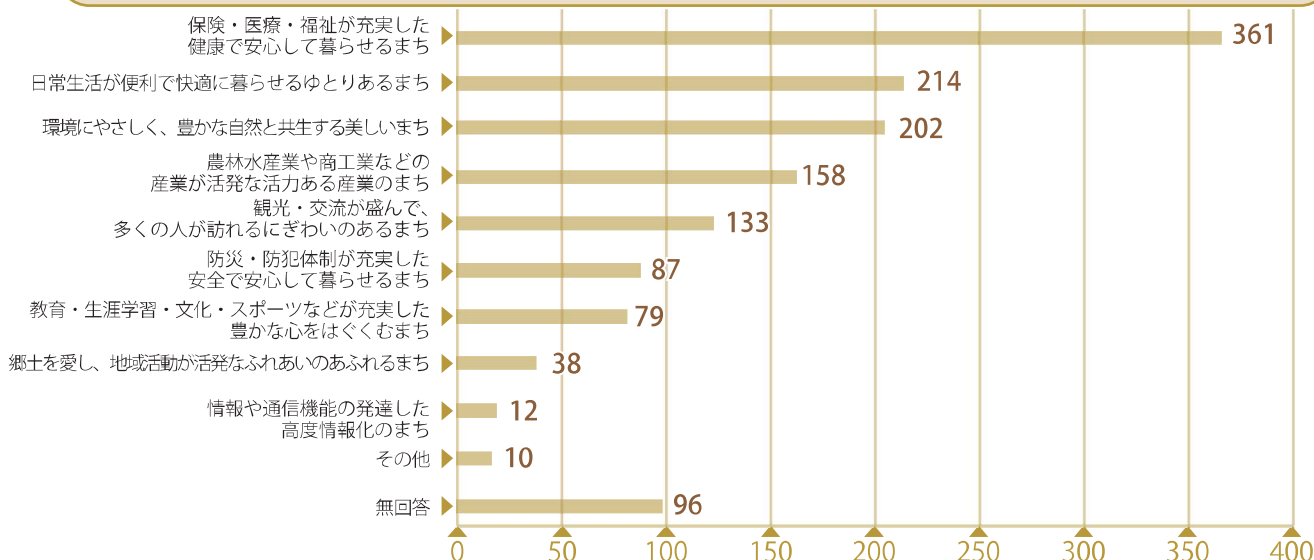
3 市民が感じる幸福感（豊かさ）

問 あなたにとって“幸福感（豊かさ）”とは何ですか。（3つまで選択）



4 網走市の将来像

問 あなたは、将来の網走市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。（2つまで選択）



編集・発行

網	走	市	企	画	総	務	部	企	画	調	整	課
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



Abashiri City Comprehensive Plan

